

飛んでスマート・クルーズ・アカデミー
シドニー発着 2025 年 3 月 13－16 日
@ロイヤル・プリンセス



コースとスケジュール

日次	日付	寄港地	入港	出港
1日目	2025年3月13日（木）	<u>シドニー（オーストラリア）</u>	午後乗船	18:00
2日目	2025年3月14日（金）	クルージング	-	-
3日目	2025年3月15日（土）	Eden, Australia	07:00	16:00
4日目	2025年3月16日（日）	<u>シドニー（オーストラリア）</u>	午前下船	-



スマート・クルーズ・アカデミー番外編参加者名簿

番号	タイプ・所属大学・ゼミ	氏名(ふりがな)	性別と部屋割	学年
1	大阪大学・赤井ゼミ	赤井伸郎(あかいのぶお)	男	教員
2	兵庫県立大学・橋本ゼミ	橋本浩幸(はしもとひろゆき)		教員
3	京都産業大学・倉本ゼミ	倉本宜史(くらもとたかし)		教員
4	札幌大学・武者ゼミ	武者加苗(むしゃかなえ)	女	教員
5	大阪より	山田恵子(やまだけいこ)		
6	札幌より	木村真理(きむらまり)		
7	兵庫県立大学・橋本ゼミ	橋本実奈(はしもとみな)	女	4
8	兵庫県立大学・橋本ゼミ	速水栗音(はやみくりね)		4
9	兵庫県立大学・橋本ゼミ	地主果奈(ちぬしかな)	女	4
10	兵庫県立大学・橋本ゼミ	福田りさ(ふくだりさ)		4
11	兵庫県立大学・橋本ゼミ	藤田莉緒(ふじたりお)	女	4
12	兵庫県立大学・橋本ゼミ	岡本真依(おかもとまい)		4
13	兵庫県立大学・橋本ゼミ	宮本綾乃(みやもとあやの)		4
14	兵庫県立大学・橋本ゼミ	加賀谷智也(かがやともや)	男	4
15	兵庫県立大学・橋本ゼミ	堀颯翔(ほりはやと)		4
16	兵庫県立大学・橋本ゼミ	渡辺阿南(わたなべあなん)		4

学生感想

特に満足したポイントを3つ.....	5
申し込むかどうかを考えていたときのクルーズへのイメージ.....	7
クルーズの概要を知ったときの感想.....	9
申し込み後、乗船日前夜に考えたこと	11
乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想	13
乗船直後の感想.....	15
クルーズ船としての船内施設（ハード面）全体の感想	17
"船内サービス(ソフト) の感想.....	20
"船内の SHOW やエンターテインメントの感想	24
"船内の施設での体験に関する感想	26
クルーとのディスカッションの感想.....	29
寄港地（石垣島）での感想	エラー! ブックマークが定義されていません。
乗船下船港（シドニー）の感想.....	32
寄港地（エデン）での感想	35
スマート・クルーズ・アカデミー企画全般についての感想と今後の要望.....	37
地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想.....	39
クルーズを通じた国際交流・異文化理解についての感想.....	42
クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点).....	45
クルーズ全般への感想	48

学生アンケート

特に満足したポイントを3つ

1. 1) 発着港でのアクセス、2) 季節、3) ビュッフェのドリンクサーバーとプールデッキおよびデッキ 5 の無料フードとドリンク
2. 1つは、アクティビティが充実していること。プールやジム、スポーツなど楽しめるサービスが充実していた。2つめは、美味しい食べ物がたくさんあること。コースだけでなくビュッフェも品揃えが豊富でおいしかった。特にエビがたくさん食べれてよかった。3つ目は、接客の良さ。従業員のみなさんがフランクに喋りかけてくれて嬉しかった。
3. 1つ目に、バルコニーで海を見ることができた点。クルーズの醍醐味を経験できたと思う。2つ目に、シャンパンタワーにシャンパンを注ぐという初めての経験ができた点。3つ目が、コース料理の選べるメニューが豊富で、とてもおいしかった点。オーストラリア料理もいただくことができ大変満足した。
4. ・レストランでディナーを食べているときにスタッフの方が楽しませてくださる。・部屋の掃除をこまめにしてくださるので快適に過ごせる。・ショーなどのイベントが多く、船内も楽しめる。
5. 1バルコニー付きの部屋だったので、海を眺め景色を楽しむことができた。バルコニーでのんびりする時間が多かった。2ディナーで選ぶことができる料理が多かった。メインの量は多く全部食べるのは難しかったけど、友達とシェアしながら食べれてよかった。3ソフトクリームやサンドウィッチなど、ビュッフェやディナー以外にも無料で楽しめるコーナーがあったこと。
6. "・食事が口に合い、種類が豊富だった点・接客や客室サービスが充実していた点・様々なアクティビティが用意されていた点"
7. 二泊三日の中で様々なことを楽しむことが出来たからです。プールやジム、buffetなど常に船内で充実した時間を過ごすことができ、カジノや、ショー、シャンパンタワーなど非日常でめったに出来ない体験をすることが出来たのでとても楽しかったです。
8. キャビンと夕食レストラン、船内ショーの3つについては特に満足した。クルーズ船ならどれでも広い海を眺めることができる。しかし、最上階まで行く必

要があったり、椅子が埋まっていたりゆっくり座れなかったりすることが多い。今回のクルーズではキャビンから静かに海を眺めることができ、そこでは混雑した最上階では聞くことができない波の音を聞くことができた。夕食のレストランについては料理のクオリティに驚いた。メインだけでなく、前菜から手の込んだ品が運ばれてきて、どれも非常においしいものであった。船内ショーに関しては毎回最前列で見ることができる点が良かった。普通ミュージカルやライブを見に行くと、抽選で席が決まっていることが多いが、船内ショーに関しては開始10分前に入場しても最前列で見ることができる。演者さんたちの息遣いや目線、気迫を感じることができた。

- 9."POINT1 屋外で提供されていたピザ、ソフトクリームなど無料でプール上がりの小腹が空いた状況で食べやすかったこと。POINT2 前回のベリッシマと違いバルコニー付きの部屋であったため、部屋にいながら外のきれいな景色を楽しむことができたこと。POINT3 レストランのスタッフの対応がとても気持ちよかったこと。"
10. 普段できないような経験や人との関わりがあったこと・船のクルーが親切でユーモアたっぷりに船についておしえてくれたこと・部屋から海を眺められたこと
- 11."①朝から晩までぎっしり詰まったバラエティー豊かなイベント②寄港地での自由時間③種類も味も満足できる食事がオールインクルーシブ"
- 12."1. 毎日エンターテインメントのプログラムがあり、飽きることがなかった。逆に参加したいプログラムが時間刻みにあり、もっと日数が多かったらと思った。2. 夜の賑やかイベントが雰囲気が楽しく、他クルーズ客と交わって踊るのは、普段の旅行では体感できない経験だった3. 夜は星を眺め、朝は日の出を見て船内を散歩したり、早朝プールが気分爽快だった"
- 13."・発着ターミナルのあるサーキュラーキー周辺が大変風光明媚で、出港の際にオペラハウスやハーバーブリッジを大型クルーズ船からでないといかない角度で堪能できたこと。・シドニーという街が水上交通はじめ多種多様な交通機関が発達しており、乗船前や下船後も様々な公共交通機関で移動が可能であったこと"
- 14."1: 発着港であるシドニーのサーキュラーキーの目の前に停泊するクルーズ船の風景が良い。2: 出航時のオペラハウスや、両側に広がるシドニー湾が最高3: 初めて乗るロイヤルプリンセス アトリウムが豪華"
- 15."・共用部もレストランも、部屋も落ち着いた雰囲気の内装で優雅な気持ちになることができる。・パーティーやショーも、演出が派手さだけでなく、上

品である。・プールデッキでのハンバーガー、ピザ、ソフトクリームが美味しいだけでなく、追加料金を必要としていない点に、贅沢さを感じる。また、5階のスイーツも追加料金を必要とせず、様々な場所で間食を楽しめた。”

申し込むかどうかを考えていたときのクルーズへのイメージ

1. 海外発着は初体験なので、日程さえ合えば参加したい。あとは、どの国なのか、どこに行くのか、どれくらいの規模のメンバーでいくことになるのか。参加希望者は、航空券や前泊や後泊のホテルの自前での手配が必須であろうから、早くクルーズ前後のアカデミーの有無の様子を決定してほしい。
2. ゼミの先生から誘っていただいたことがきっかけ。以前もゼミの先生とゼミのメンバーでクルーズに乗ったことがあり、すごく楽しかった思い出がたくさんあったからまた乗りたいと思ったから。また卒業旅行も兼ねてゼミのみんなと最後の思い出を作るいい機会でもあり、自分自身オーストラリアに行ってみたいと思っていたこともありクルーズに参加したいと思った。
3. ちょうど卒業のタイミングだったので今までの日本発着からグレードアップして海外発着にチャレンジするのはありだと思った。不安もちろんあって、長距離フライトを学生だけでという経験はしたことがなかったので遅延してクルーズに乗れなかったらどうしようとか、クルーズ後にまた長距離フライトは体力的に可能なのかなとかを考えた。
4. 1年前、日本発着の別のクルーズに参加し、ショーや食事、船内施設など非日常体験ができ、大変貴重な経験となった。そのため今回のクルーズでも良い経験ができると考え参加を考えた。また大学卒業のタイミングでもあったため、卒業旅行として参加したいと考えていた。
5. 以前に乗ったクルーズが楽しかったので、学生の中にまた乗りたい気持ちがあった。一緒に乗る友達が多い方が絶対に楽しいと思ったので、みんな一緒に乗れたらうれしいなと思っていた。海外に行った経験がほとんどなかったので無事にたどり着けるのか、スリにあってりしないかの不安はあった。
6. オーストラリア発着という点が魅力的に感じ、申し込んだきっかけである。時間の関係から、学生の中にしか行くことができないと考え、卒業旅行になると思った。海外ということに不安を感じる一方で、船内や客室が豪華で、その不安は楽しみと期待感でかき消された。
7. 前回日本発着のクルーズに乗ってとても楽しかったからです。今回は前回と

は違う船であり、更に海外発着だということで、前回とは違う雰囲気を楽しめるところにも興味を持ちました。更に、シドニー観光もかねてクルーズを楽しめることも魅力的でした。

8.以前、日本発着のクルーズに参加させていただいたが、日本発着クルーズと海外発着クルーズでは客層が大きく変わるだろう。今回は海外発着のクルーズということで、客層が変わる分、クルーズ船内での雰囲気も変わり、前回のクルーズでは得られなかった特別な体験ができるに違いないから絶対に参加しよう。そもそも、前回のクルーズに参加してクルーズ船の魅力をたくさん知った。参加しないわけがない。

9.私は今回のクルーズは即決である。前回初めて乗ったクルーズがとても楽しくて、その時から大学生のうちにもう一回乗りたいと思っていた。先生から今回のお話を頂いたときからワクワクが止まらなかった。そして今回はシドニー発着であるためついでにシドニー観光もしたいと思っている。楽しみが強すぎて全く不安や危惧する点がない。

10.クルーズ船にのる機会なんてほとんどないだろうし、時期としても卒業旅行に最適なので、学校で仲の良い友達と一緒に行こう。また前回乗ったクルーズでは主に日本周辺をめぐるものだったので、海外発着クルーズも体験して、それぞれの良さなどを見つけてみたい。

11.某オンラインサロンのクルーズ同好会で、月単位の長期のものしかないと思い込んでいた海外クルーズに3泊4日のインフォメーションがあり驚いた。早速仕事の調整に取り掛かり、念願のクルーズに参加できるよう動いた。ただまったくのクルーズ未経験者であるため、自分が場違いな存在にならないかを心配した。

12.海外発着が特に気に入った。高価でクルーズ日数が長い印象があったが、価格帯もアフォードブルで、期間もちょうどよく、現地の方々と携わる機会やカルチャーの違いを垣間見る機会がありそうと思ったから。クルーズの前泊、後泊で現地の観光も魅力的だった。

13.シドニーは10年ほど前に訪問した際、やたらと物価の高い街という印象で、下船後が楽しめるのか不安であった。わざわざ10時間も飛行機に乗っていくのであれば、メルボルンも行きたいと考えていた。

14.これまで冬のクルーズは、シンガポールであったが、新たな挑戦としてシドニー発着を探したところ、手ごろなコースが見つかった。3泊4日は短いが、体験するにはちょうど良い。終日クルーズ日もあり、船も楽しめる。

15.・特に海外発着に拘ってはいない(中国発着を除く)。国内の港湾発着でも、

海外の港湾発着でも、国内から海外の港湾のクルーズであっても、今回は参加していたと思う。特に、今回はシドニー発着ということで、空港から市街地、またクルーズターミナルまでの移動の安全性が他の多くの国・都市よりも高く、また街の中からの出航に大変興味があったため、参加を強く希望した。

クルーズの概要を知ったときの感想

- 1.イーデン（オーストラリア）という全く未知の街へ寄港するようなので、楽しめるのか不安。インターネット検索をしてもそれほど何かをウリにしている街でもなさそうなので、寄港中の計画を立てづらく感じている。その代わり、発着港であるシドニーは、世界屈指の治安の良さを誇る観光地として有名であり、前泊と後泊の計画を充実させたい。
- 2.クルーズ船では、非日常体験がたくさんできると思った。海の上で、食事ができたり部屋の中で過ごしたり海の景色を楽しみながら素敵な時間を過ごすことができるのはクルーズならではの。また、クルーズにはたくさんの従業員がおり普段海外の方と話すことがほとんどない私にとって貴重な体験で刺激がある。
- 3.クルーズ船がまずとても豪華で魅力的だった。部屋がオーシャンビューであることや、シーウォークなど今までになかったことができるということにとても惹かれる。しかし、その魅力的なコンテンツを3泊4日ですべて堪能できるのかな。全部堪能するためにしっかりと船の中のスケジュールを考えないといけないな。
- 4.海外発着のクルーズには参加したことがなく、オーストラリアにも行ったことがなかったため、クルーズ参加に伴い現地の観光ができると期待が膨らんでいる。また船内の設備やイベント、寄港地を見て一層期待が膨らんでいる。
- 5.期間が短い点は少し残念に感じる。私は以前クルーズを経験したとき、丸一日洋上の日が1番好きだったので、洋上の日があつてうれしい。部屋もバルコニー付きでどんな景色なのかとても楽しみだ。イーデンについてはあまり情報はないけれど、海がきれいな街であると紹介されていたのをみて楽しみだと思う。
- 6.寄港地がイーデンであるということが印象的だ。イーデンは観光地ではない

ため、旅行で行くことがないので、クルーズ船に乗ったときにマイナーなエリアを訪れることができる点が良い。4 日間のショートクルーズであるが、それだけではもの足りないだろうと感じる。

7. 船内で様々なエンターテインメントがあり、とても楽しそうだと感じる。更に、毎日ショーや DJ などイベントが開催されていることで、毎日違った楽しみ方を出来ることもとても魅力的に感じる。
8. 前回のクルーズ (MSC ベリッシマ) は若者向けのクルーズということもあり、船内にはウォータースライダーやジュニアが遊ぶ場所、大きな体育館があったのが印象的だった。今回のクルーズはもう少し大人向けということで、前回のクルーズにはなかった図書館や絵画展がある。寄港地も賑わっているような場所ではなく、のどかな田舎だ。前回のクルーズと違う点が多いことはたくさんの経験が得られるということだから、とても楽しみである。
9. 3泊4日と聞き、前회가ちょうど 1 週間あったため、少し短いように感じる。また寄港地も EDEN という全く聞いたことのないところであるためワクワクするが、その反面物足りなさを感じる。船に関しては前回と違う船に乗れるということとどんな特徴があるのだろうかとても期待する。二回目であるためそういったところは前回にない概要を知った時の楽しみ方である。
10. オーストラリアには行ったことが無く、広大な大地や多様な動物に巡りあってみたいという思いもあるので、ぜひ行ってみたい。クルーズに乗る前やおりの後にも沿岸部だけでなく、内陸にある有名な観光地等も自由に観光することが出来るので、行ってみたい。
11. 大好きなオーストラリアのシドニー発着がまずは高ポイントで、寄港地がホエールウォッチングで有名な場所というのにも惹かれる。さらに驚くほどシステムが進化しているようなメダリオンの存在はセキュリティへの不安感を取り除いてくれる。また船のスケールの大きさ、施設の充実具合も想像をはるかに超えている。
12. 乗船日数が 3 日間しかないので、事前に下調べと何をしたいか準備が必要だと思う、また、船内でワイン会を開きたい場合、持込料金の高さが、今後ワイン会を用いたクルーズ旅行するのは割高になるのでは?と思う。
13. ロイヤルプリンセスはなかなか日本発着を行わないので、わざわざフライ&クルーズを体験する価値がある船ではないかと思っていた。また初めてプリンセス社の船に乗るので、MSCやロイヤルカリビアン、ミレニウム社の船とどう違うのだろうと期待している。
14. ロイヤルプリンセスは、ダイヤモンドプリンセスよりも一回り大きく、アトリウ

ムも豪華。この船でのクルーズは初めてなので、ワクワクする！シドニーのオペラハウス前からの出発も、楽しみだ。

- 15.・ロイヤルプリンセス号に乗船する機会は、今までなかったため、是が非でも乗船したいという思いを一番強く持った。また、イーデンという初めて聞く名前の街への寄港をするということで、オーストラリアの大都市以外の街並みを見てみたいという思いもある。また、クルーズならではの南半球の星空にも興味を持っている。

申し込み後、乗船日前夜に考えたこと

- 1.プリンセスクルーズの船は、上品であることを知っているが、なかでもロイヤルの名を冠するだけに、王室の何か気品を感じる事が出来ればうれしい。停泊中の船体もプリンセスらしい爽やかで品が感じられ、ダイニングでのディナーコース料理や、アフタヌーンティーの時間が楽しみである。
- 2.クルーズは2回目だったこともあり、不安はほとんどなかったが強いて言えば、パスポート番号や名前のスペルなど入力した内容が合っているかを乗る前に心配になっている。しかし、楽しみの方がはるかに大きく、クルーズ船に早く乗りたいと待ち遠しい感じた。前日はいよいよだと思ってわくわくが止まらない。
- 3.今回の船は今までとはまた違う経験ができると思いワクワクしている。シーウォークやオーシャンビューの部屋、ビュッフェ、プール、ジャグジー、ジムとたくさんのことができることが楽しみで、どうやって全部まわりきるかをずっと考えている。また、海外発着なので日本人は少ないんだろうなと思っていたので船内では英語を頑張って話そうと思う。
- 4.前回のクルーズ乗船時の初日に船酔いであまり眠ることができなかったため、船の揺れが不安だ。ビュッフェやディナーはオーストラリアならではの物が食べられたり、船内設備の体育施設やプール、ショーなど非日常体験ができたりすると期待している。
- 5.大学生生活最後の旅行なのでたくさんの思い出をつくらうと思う。クルーズの期間は短いのでいかに効率よく船内を楽しむかが大事だと思う。今まで日本発着のクルーズとは違って日本語が通じない環境であることへの不安はある。海外発着と日本発着の客層や雰囲気の違いがあるのか気になる。
- 6.海外のクルーズ船で、乗船する方々も日本人の人はほとんどいないのでは。

そのため、言語が通じるか、コミュニケーションがとれるか不安だ。また、料理が口に合うかも不安だ。しかし、ロイヤルプリンセスの船内の豪華さや施設・アクティビティの充実さから、期待感の方が高い。

7. 英語があまり話せないため、何かトラブルが起きたらどうしようという不安がある。ネットが繋がらないので、船内では調べることが出来ないことも少し不安だ。だが2回目の乗船だったのでわくわくした気持ちの方が圧倒的に大きい。
8. 前回乗ったクルーズ (MSC ベリッシマ) と比べると違う点が多いということもあり、初めての経験が得られるに違いないという期待が大きい。前回のクルーズには無かった働いているクルーと話す機会があるので、実際に働いている人しか知らないような負の面とかも知りたいと思う。また、アフタヌーンティタイムなどにも参加して海外文化をたくさん体験市に行きたいと考えている。
9. 前日はシドニー観光をして体はとても疲れている状態であるが、気持ちは早く乗りたい、次の朝が早く来ないかととても待ち遠しい。それは前회가とても楽しかったからである。前回のクルーズ前夜はどんな大きさの船で自分がどんな部屋で過ごし、船上はどういった感覚なのだろうかと期待と不安が混ざり合っていたが、今回は前回の楽しかった思い出に浸りながら、今回はどんな船旅ができるのだろうと期待を膨らませている。
10. 前回クルーズ船に乗った時には何もかもが初めての経験であり、全てにワクワクしていた。それと同時に勝手のわからないことも多く、効率の悪い行動の仕方やもっと早くに知っておきたかったと思うことも多かった。今回の乗船では、前回の経験を活かしつつ前回の船には無かったものまで楽しみつくしたい。
11. クルーズの説明書を何度読んでも想像の範疇ではわからないことが多かったが、施設や設備などから船内でどのように過ごそうかとわくわくしている。英語やマナーなどに不安要素はあったものの期待値の方が上回っている。だが一方で期待しすぎて落胆することも踏まえ、過度に思い込まないようにもしている。
12. クルーズに限らず天候に左右されるが、船上だと特に天候の荒れが船の揺れとか、万が一何かあったらタイタニックの二の舞いになるのか、うっすら不安がよぎる。前泊せず当日着のフライトで乗り継ぎ便利用したこともあり、乗船時間までに到着できるか少し心配だ。船内でのんびり、ゆっくり過ごす至福の時間を想像している。

13. "仕事が終わらないこと。どこであきらめるかということ。久しぶりのシドニー、また一緒に乗船する仲間たちが旅慣れていて、絶対に楽しい旅行になると確信する。"
14. 今回は、シドニーまで行かないといけないが、そこまでの空路も楽しまないといけない。いろいろ悩んだ結果、マレーシアのクアラルンプールで噴水ショーを楽しんでからシドニーに入ることにした。楽しみだ。初めて乗るクルーズ船、しかもプリンセスなので、メダリオンも楽しみだ。
15. ただただ、早く乗船したい気持だ。今回は、久しぶりのプリンセスクルーズの客船への乗船ということで、アフタヌーンティーの時間が一番楽しみであったため、果たしてアフタヌーンティーの時間があるのか、あったとして参加できるのかでドキドキしている。他にも、ビュッフェメニューに白米はあるのか、みそ汁など和食はあるのか、を考えている。

乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想

1. サーキュラーキーの電車駅からハーバーブリッジを背にしたロイヤルプリンセスは格別に感じる。また、世界遺産であるオペラハウスを遠くに眺めながら、自分がこれから乗ることになる迫力満点の船を間近に感じられるのはすごいロケーションだ。旅行者もシドニー市民も沢山行き交う港湾都市の日常の街並に溶け込んで佇むクルーズ船に感嘆のため息が漏れる。
2. クルーズ船の大きさにびっくりしたと共にわくわくしている。今回のクルーズは3泊と短いのので、1日1日を楽しもうと思う。また、クルーズ船の前でゼミの先生や他の大学の先生と合流し、みんなの楽しそうな顔を見て、ますます自分も楽しみになっている。船の前で撮った写真は、とてもいい写真で思い出だ。
3. 何度みてもクルーズ船はとても大きくてカッコいい。クルーズの乗客の方々は今までの日本発着の時よりやはりアジア系の方が少なくオーストラリアクルーズだなと感じる。クルーズ船に乗る前に空港のような手荷物検査があったのは初体験だ。安全な航海のために必要なことだと感じる。
4. クルーズでは客船の頭を見ることができ、想像以上の客船の大きさに驚く。また港から客船とともにオペラハウスとハーバーブリッジを見ることができたため海外発着クルーズのスケールの大きさを改めて実感することができた。
5. 港がサーキュラーキー駅からアクセスが良く降りてすぐに船の場所が分かる。多くのお客さんが集まっていて港がにぎわっているなど感じる。クルーズ船

が止まっている近くを小さな船がたくさん走っていて、このクルーズ船が動くときは端によけたりするのかな、時刻表に遅れが生じたりしないのかな。

6. 想像以上に大きくて驚いている。また、オペラハウスやハーバーブリッジの近くに停まっており、多くの人が写真を撮っており、注目の的になっている船に自分が乗る優越感を感じている。以前乗船したベリッシマとは、また違っており、今回のクルーズ旅行も絶対楽しくなる、と確信する。
7. とても大きく迫力を感じました。ジムやプールなどたくさんの施設があることを調べていたので早く乗船して船内を探検したいと思う。また、前回のMSC ベリッシマと違って船の作りも少し異なっていて乗船するのが楽しみだ。
8. クルーズ船に乗るのは今回で二回目であるが、やはり何回見てもクルーズ船の圧倒的な大きさに感動している。高層ビルのように見上げないと全体を見ることができないものが動くというのは、不思議な感覚になる。今回のクルーズでは、メダリオンにて本人確認や決済ができるということもあり、とてもスムーズに乗船まで進んでいる。メダルですべて完結するというだけで、非日常を味わうことができ、気持ちが高揚している。
9. 「デカイ」これにつきます。前回のった時も全く同じことを思いましたが、今回もそう思う。サーキュラーキー駅のホームから船が見えこれに今から自分は乗るのかと喜びのあまり駅のホームをかけてしまう。駅から降り別の角度から見てもその大きさを実感し、前日に渡ったハーバーブリッジよりもデカイなという印象を受け本当にここから出航できるんだらうかとワクワクしている。
10. 圧倒され続けたシドニーの街並みに負けることなく大きく立派な船で、この船に乗ることができるのだとワクワクがとまらない。街には船を眺めている人も多く、この船に乗り込もうとする自分が少し誇らしい。間違いなく広いであろう船内を、短い時間の中でも堪能しつくしたい。
11. サーキュラー・キー駅からの移動の行程で、ゆっくりと姿を現したロイヤルプリンセス号は、想像以上の大きさ、美しさで驚いている。青くて高い空に白い船体がまぶしく輝いていて、これが豪華客船なんだと見惚れる。加えて両脇にオペラハウスとハーバーブリッジを従えさせている様はまさにプリンセスで、神々しさすら感じる。
12. 思った以上に巨大な船で心配が吹っ飛んだが、もし天候悪化とか、不慮の事故が起きた時に大惨事になるんだらうなと思う。出航時の汽笛が特徴あってジーンとくる。シドニーハーバーからの出航と戻って来るときの情景が何とも心躍る時間だらう。普段の観光では見ることができない景色で、クル

ーズ旅行の醍醐味だ。

- 13.地下鉄サーキュラーキー駅で下車した際に、まず駅のホームから見えた船の姿に興奮している。岸壁まで来てみると、18 万トンクラスの船よりは小さいことが分かるが、それでも周囲の船よりは圧倒的に巨大で、これからの旅の盛り上げには十分だ。
- 14.乗船日前日は、セレブリティの最新型の船が停泊していた。そして、乗船日当日、朝ホテルから出ると目の前には、ロイヤルプリンセスが停泊。オペラハウスの前で、船が多く行きかう狭い港に、ドーンと停泊するクルーズ船の姿は、迫力がある！
- 15.・前日に同じ場所で他のクルーズ客船を見ていたとはいえ、こんな近くにクルーズ船が停泊するのか、と改めてびっくりだ。鉄道の駅からもはっきりと船体が見える近さであり、写真を撮りたいと思える岸壁だ。また、クルーズターミナルの近くに観光名所やお店、ホテルがあることで、これまで訪問したどの港よりも、町と岸壁の近さに驚いている。

乗船直後の感想

- 1.プリンセスクルーズは三度目の体験で有り、ディテールをのぞき、想像し期待していた船内の様子そのままだ。そして、当然漂う楽しい雰囲気とウェルカムの雰囲気の中で、全てのゲストに避難訓練の義務を履行させるための意気込みも感じられ、これは船員の意識の高さや旅の安心感をもたらしてくれるので最高だ。
- 2.思ったよりスムーズに乗船できたのがよかった。パブリックスペースは、階段や天井などキラキラしてて見てるだけで楽しい。また、従業員の方も明るく迎えてくれて嬉しかった。乗船してから出航した時に見たオペラハウスとハーバーブリッジの景色がとても綺麗で、夕日も一緒に見れたのがとても良い。
- 3.乗船の際にメダルを渡してくださったクルーの方がとてもやさしくこの船の船員の方々は素敵の方が多いのかな。乗船後すぐにメインの吹き抜けのエリアをみることでクルーズに乗船したなと感じる。もうすでにクルーズを楽しんでおられる乗客の方々もいらっしゃって私達も早くこのクルーズ船を探検したい。
- 4.部屋の掃除を担当してくださるスタッフの方はただ仕事を単純にこなすだけだと思っていたが、直接顔を見せて自己紹介をしてくださったり、タオルで

ぬいぐるみを作ってくださったりしていただき、想像していたよりフレンドリーだ。

5. 事前に見た映像のようにキラキラしたメインホールの吹き抜けに感動だ。とても美しくこれからの船旅が楽しみだ。船員さんは英語を話しているけれど、日本発着の船に乗っている船員さんとそこまで違いはないと感じる。こちらが日本人であるとわかると、少し日本語で挨拶してくれたりしてうれしい。日本語を話せる船員さんもいて驚く。ハウスキーピングの人が挨拶に来たのも初めてだったので驚いている。
6. 様々な国籍の方が働いていることに驚く。そして、船員さんは明るい人が多く、たくさん話しかけてくださって、楽しませようとしてくれていることが嬉しい。また、日本人の船内に日本人がほぼいない中で心細かったが、温かい対応で迎え入れてくれていることに安心している。
7. フレンドリーな方が多く笑顔で挨拶してくれたことが嬉しい。また船内のホールはとてもきらびやかで気分も上がる。屋上からはシドニーの素晴らしい景色が近くで見れて嬉しい。
8. 二回目のクルーズではあるが、何度乗っても感動する。船の中とは思えない大きな空間にある、きれいな装飾や螺旋階段に圧倒されている。クマのキャラクターのお出迎えによって、乗船してすぐにテーマパークへやってきたかのようなわくわく感を感じている。船員の方々は皆さん笑顔で快く迎えてくださり、いい気分である。いつキャビンに入れるかななどの質問にも詳しく答えて下さった。船内では安心して過ごすことができるだろう。
9. パブリックスペースを見た瞬間に「またこの場所に来ることができた」とワクワクしている。乗船前に船の大きさは感じていたが、手続き等で急いでいたため周りが見えていなかった。しかし、乗船時にパブリックスペースを見た瞬間にこれぞクルーズ船と言わんばかりのゴージャス感とそれを引き立たせる BGM で一気に気分が高揚している。船員さんも積極的にコミュニケーションを取ってくれ、いきなり船員のコスチュームを身にまとったクマと写真撮影もし、良い思い出になっている。
10. 思っていたよりも落ち着いた船内で、ガラガラしているというよりはシックな雰囲気を感じる。しかし船内に入った途端、クルーは朗らかで笑顔で誘導してくれ、言語の壁を感じさせない安心感を与えてくれる。また他の乗客を見てみると年齢層は高く、客層に合わせた雰囲気作りも行われているようにも感じる。
11. 乗船時は思いのほか厳重なセキュリティーチェックがあり、専用アプリで動

画を見たうえで避難場所に赴くなどの避難訓練には驚きつつも安心している。船員たちのフレンドリーさにも緊張がほぐれた。早速した船内探検では、他の乗客たちが笑顔でリラックスした表情で会話を楽しっており、すでに船旅を楽しんでいるようで期待が高まる。

12. 想像以上に広くて、まるで地上を歩いているかのように揺れも感じず、乗船中は BGM にタイタニックの音楽がいつも流れていた。船員さんの生き生きとしており、明るく楽しんでいる。チームワークの良さを感じ、どんな仕事をしているのか、普段の生活とか、興味津々だ。
13. 木材（のような材質）が多用された暖色系の内装で、古き良きヨーロッパと言った雰囲気を感じる。子ども向けのコンテンツは少ないかもしれない。おばあちゃんの家を訪問したような気分になっている。
14. ロイヤルプリンセスのアトリウムは絢爛豪華で、圧倒される。また、アトリウムにあるカフェには、ケーキや、サンドイッチが並べられ、いつでも食べ放題。クルーも明るく、buffetの食事も豊富。
15. ・イメージしていた通り、プリンセスクルーズのスタッフさんの丁寧な接客態度に安心する。歓迎しているという雰囲気づくりは、船社の一つの特徴になっているように思える。また、船内では窮屈さや閉鎖された空間だというイメージを全く持たない。どこか余裕のある作りであり、安心できる。

クルーズ船としての船内施設（ハード面）全体の感想

1. ハード面で何か完全に不足していると感じられるものはなかった。ここにもあれば良いなというのは 2 つあった。室内のプールと室内のジャグジーである。隔壁の関係で仕方ないが、デッキを間違えると方向は合ってもたどり着けないレストランがあったりするのは困惑した。エキサイティングなアクティビティがないのは若年層には物足りないと感じた。
2. 施設はとても充実していた。カジノは一度友達と一緒に訪れ 10 ドルだけしてみたが、すぐ負けてしまった。ブラックジャックなどみんなでするカジノは楽しそうだったと思うがルールが分からず、参加を諦めた。また、バーにも行って夜を楽しんだ。種類が多くて何を飲むか迷ったが選ぶのが楽しかった。
3. まずシーウォークがあるのがとても魅力的だった。クルーズならではの写真映えするスポットがあることは若い乗客にはとてもいいポイントだと感じた。プ

ールが水深 2 メートルもあったことにはとても驚いた。先にゼミの男子が入っていたので教えてもらってからプールに入ったが教えてもらえなかったらかなり驚いていたと思う。プールサイドの注意書き等はしっかりと読まないといけないと思った。日本語であれば意識しなくても目に入っただけで理解できるが英語であれば私の語学力では読もうとしないとちゃんと理解できないので今後しっかりと注意書きは読む癖をつけたいと思った。

4. バスケットやゴルフ、プールなどの運動ができるスペースやカジノなどの娯楽施設が同じ船内にあるため、年齢を問わず全ての人が楽しめると感じた。さらに同じ船内にあるため日常生活に比べて移動距離や時間を短縮することができ身体が不自由な人でも楽しめる船内になっていると感じた。

5. 吹き抜けがあり船内を広く感じる事ができた。前後行き来できないフロアがあったので覚えるまでは戸惑うこともあった。バーや有料レストランは壁で区切られていなかったため開放的で入りやすい雰囲気であったと思う。

6. 全体的に作りが豪華だった。メインのホールはゴールドで輝いており、豪華さを演出していると感じた。そのため、過ごしやすく、優雅な気持ちで船内で過ごすことができた。カジノやバーで雰囲気が異なっており、同じ船の中とは思えないような点も、飽きることがなくて良かった。

7. 屋上のプールは真ん中に噴水があって周りにプールやジャグジーがあるといった造りがとてもきれいでした。出港の際に真ん中でダンスをしていて、見栄えがとても良かったです。客室の廊下に絵が飾ってあったため、客室までの道でも楽しめて良いなと思いました。

8. 船内は暇になることなく、十分に満足できるだけの施設があると感じた。プールも小さい子用や大人用などというように分かれており、落ち着いて入ることができるようになっていた。しかし、外にしかプールがなかったため、雨が降ったらその他の施設が混雑することが予想できた。また、風の影響を受けやすい卓球が外に設置されており、風でボールが飛ばされて普通に遊ぶことが難しいものであった。また、ベリッシマは大通りのようなものがあり、そこに飲食店が並んでいたため非常に分かりやすかったが、今回の船はバーがいろいろなところに散らばっている印象を受けた。どこに何があるのかが分かりにくかった。

9. 船内施設に関しては前回のベリッシマの方がもっと高級ブランドの免税店が多く並んでいたり、お店の並びがきらびやかであるように感じた。しかし、私からしたら今回の船の方がすべてまとまってお船内の構図も非常に覚えやすく便利に感じた。バーのコンセプトも階によって異なっていたり、前

回にはなかったアートショップが今回はあったりと船内を歩いていてとても楽しかった。3泊4日であったため船内施設をすべて堪能でき、飽きずにまわれたが、日数がもっと多いクルーズの場合は少し物足りないように感じるかもしれないと思った。

10. エンターテインメント施設に関しては非常に満足できた。初めて見るスポーツが経験できたり、迫力あるミュージカルを鑑賞できたり、カジノも楽しむことが出来た。ただショップに関しては、見つけられていないだけかもしれないがもう少しお土産になるような商品が多ければ良いと感じた。
11. メダリオンの存在がとても大きい。クレジットカード機能が付帯されていること身分証明も担うことに加え、身につけていると部屋に近づくだけでドアのロックが自動解除されるのは非常に便利であった。同室者や位置情報提供を了承した乗船者の居所、イベント会場がアプリに表示されルートも示してくれるのもクルーズならではの良いアイデアだと思った。ショーホールやシアター設備まであるのは驚きで、螺旋階段や吹き抜けもゴージャスで良かった。
12. クルーズ初なのに、バルコニーのあるお部屋で広々としていて、ホテル感覚で利用できたのは大変ありがたかった。補助ベッドだったけれど、快適でした。ショップの品数がもっと多くてセレクトショップみたいな感じだと買い物意欲も湧いたけれど、特に買いたいモノやお土産は見つからなかった。
13. 貫通できないフロアがあるのには毎回慣れない。特にレストランなど、毎日使う頻度の高い施設がワンフロアで通り抜けられないのには、とまどってしまふ。
14. アトリウムが広く、ダンスなどで盛り上がることも多かった。また、プールデッキも広く、中央の円形ステージは、噴水ショーが行われたり、ダンスの舞台になったりと、大活躍。カジノやショップも、アクセスしやすい場所に配置されている。レストランは、エレベータを間違えるとたどり着けない構造になっていて、少し不便さを感じた。
15. ・屋内プールはなかったものの、かえって船の各施設の位置を把握しやすかったと思う。また、各階の雰囲気異なっており、有料のバーやレストランも目立たないように作られていたため、今回はほとんど船内で迷うことが無かった。またカジノはこじんまりとしている印象を持った。7階のショップの位置も、6階のカジノの真上とだけ覚えておけば、迷うことなく行くことができた。ショップの隣に絵画の販売店があり、高級なイメージが共有されていたことも好印象であった。

"船内サービス(ソフト)の感想

- ①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」,
- ②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」,
- ③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」,
- ④「カジノにおける接客サービスクオリティ・雰囲気について」

- 1."① レストラン・ビュッフェ ディナーコースのおいしさに満足。ビュッフェはスイーツが豊富、料理の種類も多く試せなかった物もあるくらい豊富。日本食が少なかったのは仕方ないか。② サービス・スタッフ対応 スタッフの迅速で丁寧な接客が印象的。飲み物の補充や片付けが素早く、快適なサービスだった。③ キャビン・清掃 清掃は毎日丁寧に行われ、快適に過ごせた。④ カジノ・娯楽施設 カジノは利用せず。ただ、活気ある雰囲気は楽しめた。全体として、食事・サービス・清掃は非常に満足度が高く、期待通りの体験を楽しんだ。"
- 2.①レストランは 3 回夜に利用したが、どの日も満足した。特に、メインディッシュはボリュームがありお腹いっぱいになるまで食事を楽しめた。メインだけでなく、デザートに食べたハートのケーキはとても美味しくて感動した。②レストランのサービスでは、ボンさんというスタッフの方がとてもテキパキと働いてくれてスムーズに料理が提供されていたことが好印象だった。他のスタッフの方もみんな丁寧で素晴らしいなと思った。③キャビンの清掃では、毎日綺麗に掃除をしてくれたのでとても気持ちよく過ごすことができた。④カジノでは、種類がたくさんあって見てるだけで楽しかった。
- 3.①今回の船のビュッフェのメニューはスイーツ系が豊富で見ていてとても楽しかった。私自身はあまりスイーツは食べないのですが、パンやスイーツがい로운種類ならんでいるのはとてもかわいいなと思った。ただ、今までは日本食がかなりあったが海外発着のためか日本食がなく少し残念だった。でもそのおかげで初めて食べる料理にも挑戦できたのはよかった。②今回の船はビュッフェ以外の場所でもスイーツやピザ、ソフトクリームなどを無料で食べることができたのはとてもよかった。チーズサンドを頼んだ際に温めて提供してくださったのがうれしかった。③自室の清掃担当の方が挨拶に来られたのはとても驚いた。私達がいる部屋になんの躊躇もなく入って来たので少し驚いたが悪い人ではないと思ったので、日本との文化の違いなのだ

など思った。④今回は私はカジノは参加しなかったがカジノのエリアには行った。前回コスタセレーナに乗った際のカジノは初心者向けで大学生に優しい感じの雰囲気があったが、今回はほぼ経験したことがない私達には早いと感じるカジノだった。

4.①オーストラリアで実際に楽しんでいるメニューを用意してくださっており、食事からもオーストラリアを感じることができた。ただ馴染みがないメニューばかりだったので料理の写真があるととっても便利だった。②どの場所に行っても楽しませようとしてくださった。こまめにお皿を下げてくださった。③トラブルが発生した際に素早く対応してくださった。部屋を空ける度に掃除してくださっていたので快適に過ごすことができた。④カジノは行わなかったが、たくさんの船員さんがおり、細かく巡回していた。

5.1たくさん種類があったのと英語でどんなものか想像できなかったのもあって選ぶのが難しかった。どの料理もおいしかったけど、メインの量がとても多く感じた。最終日友達のステーキの付け合わせのポテトが見たことがないぐらいに大きかった。2レストランのウェイターの方が間違えることなく、かつ素早く料理を提供していたのがすごいなと思った。3こまめに清掃に入ってくれるので部屋がいつもきれいだった。部屋の変更やメダリオンの交換など私の拙い英語でも理解して対応してくれた。4カジノのエリアにいと幼く見えるらしく年齢確認をよくされた。若い外国人がカジノを楽しんでいるなと思った。

6."①種類が豊富だったため、飽きることがなく、好みの料理を食べることができた。②バーで未成年と思われたためか、積極的に接客をしてもらえず、残念に感じた。③こまめに掃除をしてもらえたので快適に過ごすことができた。個人的にはタオルを毎回替えてくれたことが清潔でよかった。④レストランやメインホールとは雰囲気が異なっており、お酒を片手に知人と話をしながらカジノをしている人が多かったのが印象的であった。カジノそれぞれのルールを知り、慣れていないと利用できないと感じた。"

7.清掃は毎日タオルもしっかりと変えてくれて、タオルで動物の人形を造って楽しませてくれたのがとても良かったです。レストランでは、ちょうどいい時間配分でコース料理を提供してくれたり、おすすめの料理を聞いたら丁寧に答えてくれて楽しんで食事することが出来ました。また、buffetでは、毎日少しずつ違った料理が提供されていて、様々な種類があったこと、少し場所の離れたところでアイスやピザ、ハンバーガーなどのサービスも合ったことで種類が豊富で飽きることなく楽しめました。

8. レストランやバーのメニューは非常に充実しており、どれも申し分のない味だった。しかし、クルーズ船のような異文化の方々がたくさん乗っているような場所では、メニューに写真が欲しいと感じた。説明があってもどんな料理かが分かりづらいので、写真があったら嬉しいと感じた。清掃は十分に行き届いていた。日の出を見るために5時台に外に出たのだが、その時に大勢の清掃員が外や中で掃除をしていた。朝早い寒い時間から掃除をしていて感動した。カジノは少し中を覗いた程度であるが、年齢確認を3回ほどされた。未成年が入らないようにするようにしっかり対策をしていることに感心した。年齢確認についても嫌な気分にならないように笑顔でされたので、素晴らしいと感じた。

9."①レストランのメニューはとても満足できた。前菜は 4, 5 種類ほど、パスタ系は 2 種類、メインは 5 種類、そしてそれに加えた追加メニューもあり毎晩席について友達と何にするのか話し合うのがとても楽しかった。友達と分けながら食べることで色々なメニューを食べられたが、今回はオーストラリアということもあり肉料理がとてもおいしく毎日満足した。私個人的には追加メニューにあった。Grilled Australian Strip Steak がとても好きだった。デザートも豊富で毎日色んな種類のデザートで締めらえた。今回のbuffetはデザートがとてもおいしかった。種類も豊富でゼリーからカップケーキまで様々あり食後に毎回の食後に選ぶのがとても楽しかった。バーのドリンクは種類が豊富で選べないほどであった。もっとお酒の勉強をしていろんな種類のお酒が飲めたら楽しいだろうなと感じた。②サービスはどれも素敵だった。レストランでは担当のボンさんとパヴァンさんがとても丁寧な接客と彼らの愛嬌がとても魅力的だった。写真を撮る際もとてもにこやかに対応してくださり本当に嬉しかった。buffetのスタッフも席が空き次第すぐに下げてくれたり、ジュースを持ち運びながら進めてくれのが嬉しかった。朝からとてもさわやかなあいさつで向かい入れてもらえてとてもいい気分だった。バーのスタッフも僕らが日本人と分かった瞬間に日本が誇る漫画の話で僕らにもわかりやすく盛り上げてくれたり、二回訪問したバーでは二回目の時に名前をおぼえてくれていてとても嬉しかった。写真も快諾してもらえて気持ちの良い接客だった。③レセプションサービスは今回は利用しなかった。キャビン清掃では僕たちが散らかした部屋を布団だけでなく、僕らの衣類までもきれいにたたんでおいてくれていたのが印象的だった。④カジノは僕らが成人しているように見えなかったのか比較的冷たい対応をされてしまった。"

10. ①メニューは様々なものから選ぶことができ、その内容も分かりやすく記されていたので、不自由なく楽しむことが出来た。②サービスは行き届いており、飲み物がなくなればすぐに注いでもらえるなど、細かいところまで行き届いていた。③室内のサービスについても問題を感じることは無かった。日中外に出かけて部屋に戻れば、快適な環境が整備されていた。④初めてカジノを訪れた際には、少し怖い印象をもったがクルーが丁寧に利用方法を教えてくれた。
11. ①ビュッフェがとにかく上質で、シーフードプラッターが特に美味しかった。ディナーのコースで料理が品数含め自由に頼めるのが嬉しかった。アフタヌーンティーのスコーンとイングリッシュブレックファーストも美味しく、英国マダムの雰囲気味わえた。②ウェルカム・シャンパンが届いていたこと、モーニングサービスが無料だったことも驚き、食事の際についてくれるサービスの方がある程度固定なようで、それも親しくなれて良かった。③キャビン掃除の方もいつも陽気に挨拶してくれて好印象だった。キートラブルもすぐに対応してもらえた。④は眺めただけ。
12. ①ビュッフェの品数、ディナーのコースメニューの品数も豊富で、どれも美味しく、強いてあげるなら、選びたい放題だったけれど、フードロスを意識してボリューム少な目にサーブしてくださっていたら、なお良いと思った。船内の理想の一日、食事のタイプなど、サンプルモデルの過ごし方や、おすすめ料理の紹介などがあるととても良い。②バーはいつも混んでいて、ドリンク注文のタイミングがつかめず、せっかくアプリが充実しているので、支払も登録しているし、アプリから注文できるようになると、注文もっと増えるかも。③鍵があかず、レセプションと部屋の行き来で 30 分は費やした。すぐに船員を部屋前に呼んで状況把握ができれば、時間を費やすことはなかったかもしれない。④カジノは利用する暇がなかった
13. "①フルーツの冷製スープが、これまでの船にはない、エキゾチックな味で大変気に入って毎回頼んでいた。アフタヌーンティーの紅茶がおいしく、友人は下船先の高級スーパーで買い求めていた。②Bonnさんというテーブル付きのウェーターが毎回笑顔が素晴らしく、ユーモアもお持ちだった。注文を受ける際はメモ帳に手書きスタイルで、最近の飲食業界のデジタル化に慣れていたので少し驚いた。③2 日目は 18 時ごろになってようやく部屋が清掃されたので、ロジスティクスがうまく回っていないのかと感じた。3 日目は改善されていた。④ショートクルーズで利用するヒマがなかった。"
14. ①メニューは豊富で、食事もおいしい。②毎晩のテーブルでサービスしてく

れるクルーは、仕事も早く、ユーモアもあって、さすが。③キャビンも清潔。レセプションには、日本語を学んだことのあるクルーもいて。楽しく会話できた。④カジノはやっていないが、気楽に入れる場所に作られていた。

15."・①レストランでの夕食のメニューは、毎日、食べたいと思えるものが選択肢にしっかりと入った内容であり、食べたくないと思えるメニューしかないという日が無かった。カフェやバーでは、それぞれの店舗の雰囲気合ったメニューが用意されており、注文を選ぶだけでも十分に楽しめた。ビュッフェも、日本での日常生活では食べられないような様々な国の料理を食べられたことで、満足できた。②いずれの場所も十分な人数のスタッフが配置されており、サービスへの不満はない。③キャビン清掃については、初日のタオルとして、前の宿泊者（もしくはそれ以前の宿泊者）が使用した後のものが提供されていたため、残念な気持ちになった。一見、きれいにたたまれているタオルでも、使用者が使用後に畳んだだけである可能性があることを意識して、タオルやシーツの交換を行ってほしい。④今回はカジノを利用しなかったが、特にシアターの近くに位置していることで、船内の夜の雰囲気をより明るくしてくれたと思う。"

"船内の SHOW やエンターテインメントの感想

1. ミュージカルショーは、歌声やダンスのクオリティーが高く、凝ったステージ演出も相まって感動するものであった。各キャストは一人で何役もこなし、揺れる船内でのショーであることを忘れさせる内容であった。迫力のショーもあり、観客と一体となる楽しいショーも味わえた。多様な公演があり、老若男女が楽しめる内容だった。今後もプロダクションショーは見逃せない。
2. show は、ミュージカルショーを見たが綺麗な歌声で感動した。また、音楽に合わせてステージも変化していて見ていて飽きなかった。女の人が来ているドレスが綺麗なことと、歌いながらキレキレのダンスを踊っていたことも素晴らしいかった。歌を自分がもっと知っていれば、より楽しそうだなと感じた。
3. 2日目のショーをととても近い場所で観ることができ、セットがととても凝っていることやキャストの皆さんが1人何役もされていることに気が付き、このショーのためにたくさんの準備やたくさん練習されているんだろうなと思った。また、出港時のプールデッキでのショーもととてもよかった。マリニルックでダンサーの方が踊られているのがクルーズらしくていいなと思った。
4. 楽器を弾いていたり、セットに階段が設置されていたりと、限られた船内では

あったが最大限楽しめる工夫がされており、普段見ているものとあまり変わらないエンターテイメントを見ることができた。抽選制の普段のエンターテイメントとは異なり先着順で座席が決まっていくので最前列で見ることができた。時間も1時間程度と手軽に見れたり参加できたりした。

5. 出発時は屋上でダンサーの方々が踊り汽笛がクルーズ旅の始まりを告げるようでとてもわくわくした。最終日のショーはトークと歌でもっと英語が理解できればほかのお客さんと同様に笑ったりして舞台の演者に対して反応できると思うと英語の勉強を頑張ろうと思った。最終日に限らずショーでは、お客さんの反応がよく、笑い声や歓声がよく聞こえてきた。
6. 公演の種類が多く、老若男女が楽しめるものだった。一方の方向ではなく、客も共に楽しむことができるエンターテイメントだった。また、多国籍の出演者が集まって一つのエンターテイメントを作りあげており、多様性を感じることができた。毎日沢山の公演があり、とても充実していた。
7. ショーは歌や楽器がとても上手でライトや背景の演出も素敵でとても魅力的でした。出航の時のダンスもシャンパンタワーのときの歌もとても良かったです。ビンゴ大会に参加したかったけれど、ディナーの時間とかぶっていなかったことはとても残念でした。
8. 船内ショーは二回見た。どちらも演者さんたちの気迫が伝わってくるものであり、見ていて感動した。特にミュージカルについては、バレエをしている時の筋肉の動きまで見えて、綺麗な動きに見とれた。10分前に入場しても最前列で見ることができるのは非常にお得であり、クルーズ船でしか体験できないと感じた。プライベートではなかなかミュージカルを見に行くことはないのだが、今回のショーを見たのをきっかけに、久しぶりに劇団四季などを見に行ってみようと思った。
9. 船内ショーは前回よりも印象に残るものであった。いい席が取れたため演者の生の声を聞き取ることができ、マイクを通しての音量も抜群で見ていてとにかく圧倒された。一日目と二日目でコンセプトも全く違い、一日目は全員の得意とする分野が満遍なく発揮されていてとても見ごたえがあり、二日目は歌唱力メインでそれに笑いという一日目になかった要素があり新鮮で面白かった。
10. ミュージカルなどを鑑賞したが、どれもクオリティが高く惹き込まれるものだった。これまでミュージカルはほとんど見たことがなかったが、どこかで機会を見つけて、また経験したいと感じた。こうした新しい文化に出会えることもクルーズの良さだと感じている。

11. 数百人規模の専用ホールがあることにまず驚いた。今回観たオリジナル・ミュージカルや3人の女性シンガーによるコミカルなコンサートは、想像以上のクオリティで、目を見張るばかりであった。しかも日替わりで演目を変えるところには脱帽。クルーズのエンターテインメントの本気を垣間見たように感じた。
12. クルーズ費用にエンターテインメントが含まれているけれど、期待以上に本格的で、素晴らしかった。
13. 1 日目のショーが夕食時間と重複してしまい、見られなかったのは残念だった。2日目、3日目のショーも舞台芸術に慣れている人用で、アクロバティックな技などはなかった。大衆的な分かりやすさというよりは芸術的素養が見る側にも求められる内容であった。
14. 船内のショーは、落ち着いた雰囲気であるが豪華さもあるショー、3人の女性のコメディーも交えた歌のレビューショーなど、毎晩楽しめた。また、プリンセス恒例のシャンパンタワー、アトリウムでのダンス、星空の下のダンスなど、毎晩、楽しく踊れる雰囲気作りがなされていた。これぞクルーズ。日常ではダンスをする機会もないので、この変化がとても貴重な体験となる。
15. ・毎回のクルーズで思うが、上映時間の長さが夕食後に丁度良い。ショーの内容も、満足できた。特に、知らない歌であっても歌手の声量や音程、リズムで歌の上手さで、ショーを楽しめており、プロの技術の高さには驚かされる。開演時間が夕食を急いで食べねばならない時間帯であったことだけが、残念であった。また、日中のバーや吹き抜けでも楽器の演奏がされていたり、優雅な時間を演出してくれていると思い、満足できた。シャンパンタワーは、特に良い思い出となった。

"船内の施設での体験に関する感想

1. アクティビティ関連はほとんど体験せず、ゆっくりとした時間を過ごしたので、それぞれに関する感想はない。
2. アクティビティーは、ジムやバスケットボール、卓球、テニスなどスポーツをたくさんした。いつもより、食べる量が多い分、運動をしたかった私にとって、とても良い環境だった。ジムではマシーンがたくさんあったことと、どうやってマシーンを使うかをイラストで書かれていて分かりやすかったことが印象に残った。また、ダンスパーティに参加した際は、知らない海外の方と一緒にダンスを踊ってとても楽しかった。ビンゴ大会にも参加したかったが、コースディナー

と時間が被ってしまい参加できなかったことは残念だった。

3. 部屋に浴槽がないためジャグジーで暖かいお湯に入れるのはとてもうれしかった。いい天気で海がきれいに見えたり、大きなモニターもあってとても充実したジャグジータイムだった。ソフトクリームをジャグジーの途中に食べることができたのもよかった。私達は昼にジャグジーに入ったが、夜にジャグジーに入りながら映画を見ている方がいてとても羨ましいと思った。夜のダンスタイムは人気の曲を使用しているようで乗客の方々が一緒に歌っているのが印象的だった。しかし自分が知っている曲は少ししかなかったため、洋楽をもう少し知ってからまた参加できたらもっと楽しいだろうなと思った。
4. 今回のクルーズは乗船期間が短かったのもたくさん用意されていた施設やアクティビティーを全て楽しむことができなかった。アクティビティーの種類と数が多かったため、飽きなかった。洋上でも十分に楽しむことができた。子供用の遊び場も設置されていたので家族での利用もしやすそうだなと感じた。日常生活で普段ダンスをすることはないので、とても新鮮な体験だった。ジムやスポーツ施設、レストランなど洋上にいながらも日常生活のような暮らしができると感じた。
5. プールの水深が 2.2m あったことは驚いた。洋上の日にプールとジャグジーを楽しんだけれど思ったより人が少なくてよかった。ジムでは海を眺め景色を楽しみながら走ることができた。プールもジムも近くにタオルが置いてあったので非常に便利だった。ダンスパーティーではお客さんも一緒になって歌っていて盛り上がりを感じることができた。
6. 施設が全体的にとっても綺麗で、気持ちよく利用でき楽しむことができた。船内には年配の乗船者が多いように見えたが、スポーツ施設のような若者向けの施設も充実しており、20 代の私でも楽しむことができた。ジャグジーは数が多く、混雑することなく利用することができたため、仲間とゆっくり過ごすことができた。また、ダンスパーティーでは、きらびやかな空間で、多国籍の乗船者の方々とダンスをしながらコミュニケーションをとることができ、一生の思い出になった。
7. ジャグジーは朝から夜遅くまで開いていて、たくさんの方が楽しむことが出来るのが良いなと思いました。暖かいジャグジーにつかりながら、天気の良い涼しい場所で過ごせるのはとても幸せでした。モニターで映画をしていたり、常に曲が流れていることで優雅な時間を過ごすことが出来ました。プールも子供たちが遊ぶところと大人がゆっくりするところで雰囲気が変わったり、誰でも楽しめるようになっているのが素晴らしいと思いました。

8. 大人向けのクルーズ船ということもあり、前回乗ったベリッシマよりもアクティビティ施設の充実度は落ちているように感じた。しかし、プールに関しては子供向けと大人向けに分かれている点や、近くで休みながら無料のハンバーガーやピザ、アイスクリームを食べれる点は非常に満足できた。また、テニスコートや卓球台に関しては外に設置されていることから、風の影響で思うようにできないことが多かった印象。体験型イベントダンスパーティについては、気軽に入って気軽に抜けることが可能になっており、手軽さが魅力的だと感じた。みんなでダンスをする機会はクルーズ船ぐらいなので非常にいい経験ができたと感じている。
9. アクティビティに関して今回はスポーツ施設が外であったため風の影響を受けることが多かったが、バスケット、サッカー、テニスと卓球といった様々なスポーツが楽しめた。プールは前回のようにウォータースライダーはなかったが温かい太陽のもと気持ちよく入れた。ジャグジーではオーストラリア人の親子ともコミュニケーションを取ることができ互いの国のことを知る良い時間だった。ダンスパーティーは赤井先生に呼ばれ、「ともや」と二時間ほどぶっ通して踊りとても疲れたがいろいろな人と目を合わせながら躍ることができ良い経験となった。私は途中で流れたクイーンの「地獄へ道連れ」でとてもテンションが上がった。
10. アクティビティに関しては、経験した事の無いスポーツにも触れることが出来た点良かった。また屋内のダンスパーティーでは経験した事の無いサイレントディスコなどを知ることができ、充実した夜になった。一人ではなかなか参加する勇気が出ないものも、友人とであれば参加することができた。
11. 国籍問わず入り乱れて楽しくダンスを踊った際に、これがクルーズの醍醐味だと感じた。ジャグジーで地元のご夫妻とおしゃべりし、オーストラリアの社会情勢を知れたのもよかった。クルーたちも一緒に参加した的当てゲームでは一気に距離感が縮まり、「新陳代謝を上げる方法」のレクチャーでは知識を深めることができた。アートオークションでは売買の様子に圧倒され、未知の世界にワープした気分になり、CHANEL の香水イベントではたくさんのラインナップを紹介してもらえて、自分の好みを発見できた。ワインテイスティングセミナーも本格的で、見ているだけでも楽しめた。
12. 沢山アクティビティあったけれど、余りに多いのと、時間が足りなく、クルーズ旅行を存分味わうのは、あと1-2日船上で過ごしたかった。深夜まで続くダンスパーティーは参加はもとより、眺めているだけでも楽しい気分に浸れた。サイレントダンスパーティーがヘッドセット付けていない時は異様な光景

だったが、いざ音楽を良質のサウンドでヘッドセットで聴きながら踊るのは、集中できて、結構楽しめた。

13. 今回の船はかなり乗客が多かったせいもあって、ジャグジーやプールは混雑しており、午前中の早い時間しか使わなかった。サイレントダンスパーティーは自己集中して踊る自分と、それを眺める回りとのギャップが面白く感じた。アートオークションは初めての経験で、独特の英語の早口と言いまわしに触れられ、オークション会社としてのビジネス手法が垣間見れたのは貴重な経験だった。
14. ジャグジーは楽しんだが、残念なことに、この船は、屋外のプール及びジャグジーしかなく、風が吹いていたり、寒い場合は入れない。最近の船はすべて室内プールは設置されていると思っていたが、このロイヤルプリンセスシリーズには設置されていないと分かりびっくりした。アートオークションは、久しぶりに参加したが、昔と変わらず、どんどん購入されており、余裕がある人がいるもんだと思った。
15. ・今回、初めて絵画オークションの会場に入った。常時、絵画が飾られているスペースがあったり、オークション前にも作品を見る機会があったりと、事前に何が出品されるのかが分かるシステムということを知った。また、出てくる作品がドンドン落札されていく様子は、エキサイティングなゲームの様であった。入札はしなかったが、見ているだけでも大変面白かった。ジャグジーは、回転率の悪さが気になった。他にすることがない人たちもいるのだと思うが、譲り合いの気持ちは持っていてほしい。星空の下でのダンスパーティーは、クルーズ船ならではの騒がしさがあり、見ているだけでも楽しめた。

クルーとのディスカッションの感想

1. 個別の印象をかけないが、パトリシアさん含め全体として感じられたことをまとめると、1.貴重な学びの機会だった。仕事に対する熱意や、乗客を楽しませるための工夫への意識の高さを聞けて、サービス業の働きがいを実感した。責任感を持ち約束を守ることの重要性は、学生にも説いていきたい。
- 2.クルーズ船は多国籍のクルーと乗客が共存する環境であり、高度なマネジメントが求められると改めて理解した。特に、各国の文化や価値観を尊重

しながら、一つのチームとしてまとまることの難しさと、それを支えるリーダーシップの重要性は特筆。ALT として日本で働いた経験を持つクルーの話は、新しい環境に飛び込む勇気を持つことの大切さを教えてくれた。個人的には、ディスカッションという感じではなかったので、語学力を向上させたい。

2. クルーとのディスカッションはとても良い機会を提供していただいたと思った。船に乗っているスタッフの方の仕事に対する熱意を感じ取ることができ、やりがいのある仕事なんだろうなと思った。また、人生の先輩として 4 月から働く私たちに、働く上で大切なことを教えていただいたので、今後参考にして私も熱意を持って仕事に打ち込めるように頑張りたいと思った。
3. クルーズ船には多国籍で非常にたくさんの船員、乗客がおり皆が上手く働き、楽しめる空間を作るとはとても難しいことだと思う。その中でトップの方々は統括を分担しながら船の運営をされていて本当にすごいお仕事をされているなと感じた。とくに印象的だったのはパトリツィアさんのお話の中で、乗客船員それぞれに幸せなことがありそれぞれ違うということである。それぞれの立場にたって幸せな空間とは何かについて考えることが必要で、それは常に考え続ける必要があること。私もこれから社会人として働き始めるので、このお話を忘れずにいたいと思った。
4. 乗客が楽しめているかを考えながら、船内での働きやすさを考えていることが分かった。普段はサービスの方とお話をする機会があまりないので働きやすい職場にするために工夫していることを聞くことができて新鮮だった。パトリツィアさんが責任感を持つ、約束を破らない、健康でいるなど社会人として大切にすべきことを教えてくださった。今年の 4 月から働き始めるので、教えてくださったことを大切にしたいと思った。
5. クルーズのマネージャーの方々に直接質問をしお話を聞く貴重な経験ができてよかった。様々な国のクルーがいる中でそれぞれの労働条件はそれぞれの出身国によるのは多国籍のクルーが働いているためであると思うとともに、管理するのが複雑ではないのかなと思った。また、自分が伝えたいことを 100% 正確に英語にして質問するのは難しいなと思った。
6. 船員のなかでも位の高い方々の話を聞くことができ、貴重な機会であったと思う。多国籍で人数が非常に多い船員をどうまとめるのかや、苦勞していることを聞くことができ、会社で働くのとは違った面があり、興味深かった。また、国籍が異なるお客をどのように楽しませるかという話が個人的には興味深い話であった。
7. 英語でのディスカッションはとても難しかったです。ですが、クルーズ船の運

営を管理している様々な人に会えて、船内の乗客の人数やクルーの人数、まとめ方など貴重なお話を聞くことが出来たのでとても良い体験になりました。

8. 実際に働いている方の声を聞く機会は、アカデミー以外では経験できないので非常に満足している。クルーズ船のクルーという特殊な職業ではあるが、クルーズ船のクルーにしか体験できない素晴らしい経験がたくさんあることが分かった。また、質問会で伝えたいことを100%伝えることができないもどかしさを感じて、これからより一層英語を勉強してマスターしたいという気持ちにもなった。
9. 一番印象に残っているのはセイラさんだ。鳥取で ALT をしていた彼女がクルーズで働き始めたエピソードを聞いたときはとてもびっくりしたが同時にカッコいいなと思った。またパトリシアさんもこれから社会人になる私たちに大切なこと教えてくれとても参考になった。短い時間であったが貴重なお話をたくさん聞くことができ有意義な時間であった。
10. どのマネージャーも客に対してサービスを提供する責任者であるためしっかりとした考えを持っているが、一方で皆がユーモアを持っており、やはり楽しい時間を提供するプロなのだと感じさせられた。また船のクルーになる経緯やきっかけを聞くと、私自身も何事にでも挑戦する勇氣を持たなければならぬと感じた。
11. ディスカッションに来てくださったすべてのクルーが学生たちの質問によりみなく答える様子から、クルーの皆さんがクルーズに誇りを持ち、常日頃から如何に良い船旅をしてもらえるかを真摯に考え行動していることがうかがえた。長い船の勤務には辛いこと以上に得られるものの大きさを垣間見たように感じた。
12. クルーの方が色々説明くださるのは、貴重な機会だったし、今後も続けてほしい。親近感が湧くし、折角の機会なので、お勧めクルーズルートやスポット、クルーの方々の余暇の過ごし方など、もう少しお話を聞きたかった。
13. クルーは制服の肩章で地位が分かる。それをじっくり観察していると、やはり地位の高いクルーは堂々と受け答えをするし仕事に誇りを持っていることが感じられる。また、外国人としての英語上達方法が聞けたのが参考になった。
14. 船社との調整ができて、クルーと学生の交流の時間を持てたことは良かった。アレンジしていただいたパトリシアさんに感謝、また、日本語を話せる新人クルーのサラさんも、とってもやさしい方で、学生の質問にも、丁寧に答え

てくれた。アメリカ人がクルーとして働くのはとても珍しいらしい。アメリカで働くほうが給与が高いから。サラさんは、日本で経験があり、さらに、いろいろな経験をしてみたいというのが理由。アドベンチャーという言葉を使っていたことが、とても印象的だった。多くの乗客の要望や苦情に高い給与が得られる、クルーをどのように配分し、対応していくのかは、クルーズの経験と、幹部のマネジメントが大事だと感じた。

- 15.・①40 か国以上の国々から集まった1300人以上のスタッフに対して、不測の事態であっても、誰に何を任せなのか、一人ひとりの成長を考慮しながら決断しているという話が印象に残った。リーダーとして必要な能力だということを改めて知ることができた。また、スタッフとして自分の長所をいかすことを考えながら働いていることも印象的であった。②どこの国籍の人が何人乗船するのかわ、料理のメニューが変わることは、お話を伺い、頭では分かっていたが、実際にbuffetに味噌汁がないことで、実感できた。③アクティビティも乗客の特性に応じて変えているということで、同じくクルーズ船でも、また違う国から乗船したいと思えた。

乗船下船港(シドニー)の感想

1. シドニーでは観光や食事を満喫し、オペラハウスやハーバーブリッジの美しい景色を堪能した。公共交通機関が充実し、移動が便利で観光しやすかった。港のアクセスも良く、スムーズに乗船できた。都市と自然が融合した街並みや開放的な雰囲気も魅力的で、何度でも訪れたいと感じた。
2. シドニーでは、クルーズ船に乗る前に前泊として2日間いたが、オペラハウスやハーバーブリッジはもちろん、タロンガ動物園やハンバーガーなど遊びも食事どちらも満足できた。特に、シドニーの夜景は綺麗で、夜ご飯としてハーバーブリッジとオペラハウスを見ながら食事をとったことはとてもいい思い出になった。
3. 乗船場所がサーキュラーキー駅の目の前でオペラハウスとハーバーブリッジが船から両方みることができるのが魅力的すぎると思った。シドニー乗船でしか経験できないことだった。また、駅からまっすぐ歩くだけで船に乗ることができるのは本当に便利だった。シドニーは電車、バスはもちろんのこと路面電車やフェリーなどの交通機関が充実していて移動がとてもしやすかった。どの交通機関でもクレジット決済で乗ることができる点もとても便利

だった。

4. オーストラリアの象徴とも言えるオペラハウスとハーバーブリッジを港から見る事ができたり、駅から徒歩数分だったりアクセスの良さを実感できた。アプリに登録していると乗船時にあまり待つことなくスムーズに乗船できたので便利だった。
5. サーキュラーキーからのアクセスが良く移動が楽だと感じた。施設もきれいで職員の方々も慣れた様子でスムーズに乗ることができた。観光地として有名なオペラハウスやハーバーブリッジの近くを通りながら船が発したり、船とオペラハウスとハーバーブリッジを写真に納めることができたり、観光地としての魅力は非常にあったと思った。
6. シドニーは料理がおいしく、観光地やレストランがたくさんあった。若者が好みそうなおしゃれなカフェやレストランが多く、何度でも訪れたいと思った。治安も悪くなく、安心して過ごすことができた。港が大きく、オペラハウスやハーバーブリッジと同じエリアにあって充実しており、神戸との違いを感じた。
7. オペラハウスとハーバーブリッジがみえる絶景ポイントでとても良かったです。夜の夜景もとてもきれいで朝昼晚いつ見ても景色が良くて素晴らしかったです。また、お店も多く、アクセスも良いため、行きやすいことや下船後も周辺で楽しめたので良かったです。
8. シドニーは環境の良いコンパクトな街という印象を持った。街にはたくさんの木が植えられており、緑が多かった。また、大体の観光地は歩いて行ける範囲に集中しており、観光客に優しいと感じた。町中には自転車が走り、自転車専用道路も整備されていたのが印象的だった。さらに、徒歩や自転車で行けない遠い距離に関しても問題なくアクセスできるように公共交通機関が整備されていた。主な公共交通機関は、地下鉄、電車、路面電車、バス、船である。それぞれ Train の T や Ferry の F などといった頭文字が大きく書かれており、非常に分かりやすかった。また、飲食店ではお店の外にも席が設置されていることが多く、町全体として日本よりも開放的な感じがして気持ちがよかった。コンビニやスーパーにはお酒が一切置いていない。飲酒運転や路上飲酒によって治安の悪化が防げる点ではいいと思った。オーストラリアは全体的にお店が閉まるのが早い。早いところは19:00ぐらいから閉まりだす。国際線の空港さえも閉まっていた。これはオーストラリアに出稼ぎに行く人が多い理由の一つなのだろうと感じた。
9. シドニーは日本の都市部と違い、都市と自然が融合しているのとても印象

的だった。ビル街から 10 分歩けば天然芝の公園があり、昼から寝そべっていたり、運動している人がいたり日本では想像がつかないほどてきぱきとゆったりが共存している町だった。交通の便も非常によく、地下鉄、電車、バス、船、路面電車とあらゆる交通手段がありとても便利に感じた。。またオペラハウスやハーバーブリッジをはじめとした観光地も充実しており、まさにコンパクトシティの象徴としてふさわしい街であった。

10. シドニーは建物に関しても人々に関しても様々な文化のものが入り交じっており、時にはひどい目にあうこともあるが、ひとつの国を旅しながら世界に触れられる国だ。またターミナルでは多くのスタッフによって誘導がされていたため、スムーズに乗船することができた。
11. 思いの外スムーズに下船した後は、港近くの歴史ミュージアムや週末限定のマーケットを見物した。バスや電車を利用してシドニーのおしゃれな街を満喫し、再びロックスの街へ戻ってきた。すると、セント・パトリックのイベント中で異世界に迷い込んだような光景を楽しんだ。その後ハーバーブリッジのたもとまでお散歩し、港町の雰囲気を楽しんだ。
12. ターミナルから乗船までスムーズで、胸躍る意気揚々とした雰囲気を感じた。帰りは陸地に着いた不思議な新鮮な感覚が印象的だった。シドニー港の景色は最高、あの光景は目に焼き付くほど、魅力的なハーバーだった。船上からでないと見れない景色、またクルーズ船乗りたいと思った瞬間だった。
13. これまで色々と視察したクルーズ港の中でシドニーは最高の港だった。クルーズターミナルの隣まで一般住民や観光客が見学に訪れられるのは、クルーズへの憧れを高めさせるのに有用である。湾内を移動できる公共交通としての小型船、富裕層向けのクルーザー、観光客向けの観光船など、ありとあらゆる種類の船が行き来していて、世界でも有数の港湾が活用されている街である。
14. シドニーのサーキュラーキーは、何度訪問しても圧倒される。狭い領域に、数多くの船がいきかう。そこにそびえるオペラハウス。さらに、そこに、大型クルーズ船が入り込んで停泊する。事故が起きないのが不思議なくらいだ。この過密さがまた、一つの絵になる。ターミナル施設の導線もよく、乗船も下船もスムーズだった。
15. ターミナル施設は、街中に近いこともあり、売店やレストランを導線上に見かけなかった。キャリーケースを預ける場所は 1 階にあるため、上階まで運ばずにすんだ。チェックインカウンターの数も多く、スムーズに対応してもらえた。待ち時間が少ないオペレーションをしている印象を持った。シドニー

自体が観光地であることもあり、有名な建築物を横目に見ながら出航できる経験は、他の港ではなかなか出来ない。デッキに多くの人が集まり、写真を撮ったり踊ったりと、最初から華やかな雰囲気であったことが印象に残った。

寄港地（エデン）での感想

1. エデンは情報が少なく観光地も限られていたが、のどかな雰囲気と自然の美しさを楽しめた。港で地元のエビを購入し、シンプルな味わいを堪能。波が荒く泳げなかったが、クルーズ船のプールで満足できた。観光というより、住んでみたい街として魅力を感じた。
2. エデンでは、海に行って足を少しだけつけた。波が思ったよりも荒く浅いところだけしかいけなかったが、仲間と一緒に素敵な時間を過ごすことができた。また、海の近くにエビを大量に売っているボートがあったため、エビが好物な人でシェアして買ってたくさん食べた。とても美味しくて大満足だった。
3. エデンは事前にインターネットで調べた際に得られる情報が本当に少なく、降りて何をしたらいいのかすこし不安だった。ビーチで先生方と会いエビが売られているよ!と情報をいただき現地のエビを買うという貴重な経験ができたのはよかった。実際に行ってみないと分からないことが多かったがそれも悪くないなと思った。訪れたビーチは波が荒く泳ぐことができなかったのは残念だったがその分クルーズ船でプールに入ればいいやと思った。
4. 港近くにエビが販売されており、地元ならではの食材を食べることができた。緑が多く、のどかな場所だと感じた。坂が多く、気温が高かったため移動は大変だった。寄港地での滞在時間が短いとあまり遠くまでいけないのが少し残念だった。クジラなど海の生き物が見られるツアーもあったが時間的に参加できなかったので参加してみたいと思う良いきっかけとなった。
5. シドニーの観光地で人がいっぱいいる雰囲気とは反対に、人は少なくのんびりとした雰囲気で自然を存分に感じるができるなと思った。港でエビの販売をしていたので購入し買うことができた。地元で採れたものをシンプルな調理方法で味わうことができてうれしかった。公共交通機関を利用することはなかったけれど、歩いて観光を楽しむことができた。
6. 事前に調べた際、特にこれといった観光地がないと思っていたが、自然が豊かで町並みもきれいであったため、十分に楽しむことができた。現地なら

ではの食べ物やシドニーとことなる街の雰囲気があり、オーストラリアとは違う国に訪れたのではないかと錯覚するほどであった。総じて楽しむことができた。

7. エデンは、お店が少し少なかったですが、歩いて行ける範囲内にビーチや商店街があったので十分に楽しむことが出来ました。波が荒くて海には入れなかったことや、時々とてもくさい匂いがすることが少し残念でした。
8. エデンは別荘地のような感じの町であった。景色がきれいな印象。小さな町だということもあり、観光する場所が少なかった。だからこそクルーズで行けて良かったと思う。普通にオーストラリア旅行に行ったとして、観光地としての魅力度やアクセスなどの観点から、エデンを訪れる人は少ない気がする。そのような場所がクルーズの寄港地とされることにより、町の発展につながるだけでなく、観光客としても前に来たことがあるというようなことが少なくなると思う。このような町に訪れる機会を得られるのもクルーズ旅行ならではの魅力だと思う。
9. エデンはとてもどかな街であった。私は船から降りて20分歩いた所にあるビーチに行ったが、砂浜がとても綺麗で海も綺麗でずっと見ていられる景色だった。昼ごはんはハンバーガーを食べたが、新鮮な野菜がたくさん入ったボリュームミーなハンバーガーで食べ応えがありとてもおいしかった。初めて見る野菜も入っており、とても良い体験ができた。
10. 寄港地としてのエデンは少し物足りないように感じた。足を伸ばせば大きな公園などの訪れてみたかった場所にも行けただろうが、時間の関係で近くのビーチを訪れて、ご飯を食べるだけとなった。しかしシドニーと違うオーストラリアの様子を知り、観光地というより住んでみたい土地として自身のお気に入りの場所となった。
11. 船着場はまだ自然が多く残っており、偶然何匹ものエイが魚を追って捕食する様子を間近で観察できた。さらに、エビ漁帰りのおじさんから茹でたての海老を分けてもらい、その場で美味しくいただけた。丘に登り、海辺で貝を拾い、カフェラテでひと休みし、港へシャトルバスで楽に帰ることができた。乗船時チェックもメダリオンタッチでスムーズだった。
12. Eden は余り期待していなかったけれど、日帰りでも徒歩散策がちょうどよく、ビーチにも行けたし、なぜか、次回また訪れたい街だった。お土産も充実していて、現地ならではの特色もあり、Eden ブランド商品もあって買い物時間も楽しめた。
13. 事前に調べた限りでは、有名なホエールウォッチングのシーズンでないこと

が分かり、期待していなかった。ただ、愉快的乗船仲間たちと歩くと、セレンディピティに何度も出会い、短時間ながら満足度の高い下船となった。美しい海を見ているだけでも満足できた。

14. エデンは、小さな田舎という感じ。この小さな村に、必要最低限の岸壁を設置し、そこに、ドーンと大型クルーズ船が着岸する。この姿も圧巻だ。港から街までのシャトルバスもあるが、歩いて20分ほど。ビーチもあり、お店もあり、ぶらっと田舎を体験するには、素晴らしい場所だと思った。こんな寄港地は日本にもまだまだあるだろう。

15. 日本と比較して簡素な係留施設であったことに驚いた。漁港の中に係留施設やターミナルを作っている状況は、これまでクルーズ客船で行った事のある港ではなかったため、新鮮であった。また、ターミナルから歩いていける距離に街があることもほぼ経験がないため、驚いた。人口は多くなさそうだったが、ほぼすべてのお店のシャッターが開いており、日本のにある多くの商店街との違いを感じた。雄大なビーチも徒歩圏内にあり、ゆっくりと寄港地の街を楽しめたため、クルーズの旅の優雅さを、寄港地からも感じる事ができた。

スマート・クルーズ・アカデミー企画全般についての感想と今後の要望

1. 他大学の学生との交流がなかったものの、その分余裕を持って教員や社会人と貴重な経験を楽しめました。シャンパンタワーは非日常的体験で、純粋に楽しめた。アカデミークルーズでは単に楽しむだけでなく、とくに学生にとっては将来に役立つ知識やマナーを学べる機会が自然と提供されるが、それは今後も意識していきたいメリットだ。
2. 今回のクルーズでは、私たちの大学しか学生が参加していなかったことは残念だったが、キャリアウーマンの日本人の方と出会いお話をすることで良い刺激をもらった。クルーズでは新しい人脈ができたり、いろんな人の話を聞くことができ、そこから学ぶこともたくさんあるため、クルーズを通して普段は絶対に話す機会がない人と話して新たな知見を得ることはとても重要だと思うので今後もクルーズ船に招待してもらえると嬉しいなと思った。
3. 今回は学生は私達橋本ゼミだけの参加で、先生方も何度もお会いしたことのある方々だったのでとても安心感のあるクルーズだった。ディナーの際に木村さんや山田さんともお話ができたためになるお話を伺うことができた。一

緒にダンスをしたり、ごはんのおススメを聞いたりとたくさん交流することができたと思う。

4. 普段は会うことのできない別大学の先生や特殊な経歴をもつ方と交流することができて貴重な経験になった。今回のクルーズでは他大学の学生は不参加で交流できなかったため様々な大学の学生に参加していただきたい。
5. 他大学の学生との交流はなかったけど、卒業旅行としてゼミ生との交流を深めることができた。シャンパンパーティーでタワーにシャンパンを注ぐという貴重な経験をすることができた。海外発着のクルーズアカデミーがあったことで海外旅行を学生のうちに経験できたのでよかった。ディナーの時に木村さんや山田さんのお話を伺うことができてよかった。
6. 今回は他大学の学生が参加していなかった分、教員の方々や社会人の方々と交流することができたことがよかった。このスマートクルーズアカデミーに参加していたければ会うことのなかった方々と出会い、様々な話を聞くことができた。フォーマルナイトでは豪華な気持ちになることができた。
7. 勝手にフォーマルナイトでは、フォーマルナイトが似合うシャンパンタワーのイベントが開催されていたことで、クルーズの雰囲気を最大限に感じる事が出来て良かったです。今回は私たちの学校のみだったため、交流の機会が少なかったのは少し残念でした。
8. アカデミーとしてのクルーズ旅行は非常に有意義なものになったと感じている。実際に働いているスタッフの方とお話できる機会はかなり貴重なものであり、スマートクルーズアカデミーならではの魅力だと感じている。また、フォーマルでの会食など、非日常を感じられる機会が非常に多かった。将来社会人になってからの食事マナーなども含めて、クルーズ船でのたくさんの経験が将来役に立つと確信できるものであった。
9. 学生間交流では今回は県大生だけであったが、より一層みんなのことを知れる良い機会になりよりみんなのことを好きになれた。会食では武者先生のお友達二人と話す機会があったが、特にまりさんの話がとても興味深く、一緒に話せてとても良かった。寄港地観光もとても充実していた。フォーマルナイトは全員で正装をすることでよりクルーズの世界観に入る事ができ普段あまりしない格好で写真を撮ることで思い出にもなり、今後もこういったイベントは必要であると感じた。
10. 学生だけでクルーズを楽しもうとした場合には見逃してしまいそうなイベントを、アカデミーとして先生方と動くことでもれなく経験することができた。ま

た出会うことのなかったであろう人々とアカデミーを通じてコミュニケーションをとり、他の価値観を取り入れることができた。

11. フォーマルドレスに着替えてクルーの紹介イベントへ参加した。シャンパンタワーに初挑戦し、ほんの少しだけ売れっ子ホステス気分を味わえた。これもクルーズの楽しみ方を熟知されている方と一緒に乗船できたからこそ。お陰様で数段楽しめたと思います。これからも機会が許す限り参加させていただきたいです。
12. 皆さんとの会食で意見交換や、クルーズの魅力をたっぷり聞いたのは、貴重な時間でもっとクルーズ体験したいと思った。フォーマルナイトは本当にフォーマルな装いで、今度はもうちょっとド派手でもいいけるんちゃう?と思った。欲を言えば、バーで皆でカクテル片手に語り合う時間も有ったら良いなと思った。
13. 今回は民間企業勤務の女性が参加されたので、社会に出る直前の女子学生にとって非常に有益なアドバイスをもらったり人生を楽しむ姿を見せてもらえた。フォーマルナイトではシャンパンタワーがあり、日本で生きていてはできない体験となった。
14. 今回は、学生のプレゼンはなかったものの、クルーとのディスカッションや、みんなそろっての会食、フォーマルナイトなど、一通りのイベントは行われた。3泊4日の短いクルーズであるが、濃密で楽しい時間を過ごせた。学生も貴重な体験ができただろう。
15. ・学生が事前に質問を考えてきてくれたおかげで、クルーとの交流をスムーズに行えたと思う。勝手にフォーマルナイトとして最終日の夜を過ごしたが、乗客の年齢が高めで、それなりにフォーマルに近い格好の人もいたことから、浮いた印象を持たなかった。むしろ、プリンセスクルーズの雰囲気には合っているように思えた。また、寄港地が有名な観光地でなくても、学生たちは楽しめているようであった。どこに行くかも重要だが、誰と行くかが、旅を楽しむために、より重要であることに改めて気付いた。

地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想

1. "クルーズ船誘致の最大の魅力は地域の魅力を大きく引き出す事にあると思われた。サーキュラーキーのようにアクセスの良い港はクルーズ旅行に関心のある人々を惹きつけ、シドニーとシドニー周辺の数ある観光地巡りを楽

しむ機会を容易に提供する。エデンのようにオセアニア出身以外の人々に
余り知られていないと思われる地方を楽しんだが、そのことにより、クルー
ズ寄港地となることで衆目を集め、衰退しているかもしれない地域の深刻
な崩壊を防ぐ役割を果たす可能性を感じた。クルーズ船の誘致は地域経済
を支える重要な手段だと確信する。

2. 今回、私がオーストラリアに行こうと思ったきっかけはクルーズ船に乗りたか
ったからのため、クルーズ船には海外の人も惹きつける力があると考え
る。しかし、日本人にとってクルーズ船に乗ることはそれほど一般的では
ないように感じる。クルーズ船に乗ったことがない人にも多く利用してもら
え、地域活性化に大きく役立つと考える。
3. 私はクルーズのためにシドニーに来て、先に2泊シドニー観光をした。クル
ーズ参加先でその後にその港付近の観光をすることを決めるという人はか
なり多いと思う。今回のように大きなクルーズ船であれば観光客はかなり
多い人数になると考えられる。クルーズ客船誘致は観光客を増やすという
点において非常に有効な手段だと思う。エデンはクルーズだったから訪れ
ることができた場所だったのでエデンは地域活性化の観点でクルーズ誘致
に成功しているのだと思った。
4. 船内で食事やアクティビティーは十分に楽しめており、寄港地での滞在時
間が短いことから寄港地で食事やアクティビティーに参加することは難し
いと感じた。そのため市内観光中にアイスや飲み物などであれば手軽に購
入することができるなと思った。
5. シドニーのような観光地は、クルーズ船を誘致しなくても多くの人が訪れ観
光客向けのお店が多いように感じた。そのためクルーズの前後で観光を楽
しむことができると思う。最寄りの駅に荷物を預けることができる場所が
ないことは不便であると思った。エデンは、クルーズがあったことで訪れ
ることができた観光地であると思った。観光客が少なくシドニーの時とは
違った落ち着いた雰囲気を楽しむことができた。
6. クルーズ船の発着点になる場所で、かつ観光地であるため、クルーズ船に
乗るだけではなく周辺を観光したいという気持ちになるので、誘致でき
ていると思う。港湾にクルーズが停まっており、オペラハウスやハーバー
ブリッジと並んでおり、クルーズ船も含めて観光地になっていると感じた。
7. 港湾がアクセスが良いことや、元々の大きな観光地であることは、クル
ーズの誘致にも繋がるし、ついでに観光も出来るし行こうと思うなど、
クルーズへの参加を決めるきっかけにもなると感じました。

8. クルーズ船の誘致は地域活性化のために非常に有用であると感じている。エデンのようなシドニーやメルボルンなどの都市部から少し距離があり、アクセスがいまいち良くない町は観光客が訪れにくい。多少のアクセスの悪さがあっても魅力的な観光地がたくさんあるような町であれば問題ないのだが、エデンのような観光する場所が少なく、ビーチも波が高くて遊泳禁止になっているような場所では、多くの観光客の旅行プランには入りづらい。このような場所にクルーズ船の寄港地があることで、町が衰退していくことを防ぐことができるだけでなく、観光客としても前に来たことがあるといった事態が少なくなる。そして2, 3か所の観光地を回り終わったら、船に戻って休憩することができる。普通の旅行であれば、長い時間をかけてエデンを訪れ、少ない観光地を周り、また長い時間をかけて帰ることになる。まさにクルーズ船にもってこいの観光地だと感じた。以上に述べたように、クルーズ船の誘致は、地域活性化に大きく貢献できると感じている。したがって、オーストラリアやオセアニアにおいて港湾の役割は非常に大きなものであるといえる。港湾は電車という駅である。日本でも同様の話であるが、駅の近くは地価が上がり街が発展していくことが多い。逆に駅から遠い地域では街が衰退していくことが多い。港湾の設置によって街の入口を増やし、アクセシビリティを向上させることにより、地域活性化に繋がると感じた。
9. シドニーは日本の寄港地と比べて都市部からの港のアクセスがとても良いのが印象的だった。日本は都市部からの港のアクセスがよくないためクルーズが広まりにくい点があるが、シドニーはサーキュラーキーという都市駅を降りたらすぐに港がありそこにクルーズ船も停泊するため多くの人にとって身近に感じやすいのが印象的だった。また観光地からも近いため僕らのようなシドニー観光をしながらクルーズを楽しめるという点でも優れていると感じた。クルーズが好きな人はクルーズを通してシドニーの楽しさを感じられ、シドニー観光目的の人でもクルーズに乗ってみようと思えるような良い立地であると感じた。
10. 船内でも実際にシドニー在住の客と話す機会もあり、現地の客を多く集められているという点で地域活性化に繋がっていると感じた。また、シドニーのような有名な観光地を寄港地や発着場とすることで、クルーズの前後でも観光に立ち寄る人を増やすことに繋がられていそうだと感じた。
11. さほどメジャーではない地域であっても、その土地なりの良さがあるもの。今回のイーデンはおそらくクルーズでしか立ち寄ることのなかった場所だったが、良い意味で期待が外れ、地域の方々との交流も含めここで過ごした

時間は非常に思い出深いものとなった。寄港は港湾地域の復興に大いに役立つ手段だと実感した。

12. まずは乗船するのが一番魅力が伝わる方法と思う、初回価格とか、体験クルーズ価格など今回みたいな短期間でリーズナブルな価格帯で参加してもらうのが良い、魅力ある都市から出航、寄港でクルーズ前後のモデリング観光紹介とか、クルーズは飽きる、天候悪化で揺れるのでは、事故大丈夫など心配する人もいるので、不安を取り除くような説明もあると良い
13. シドニーに関しては、クルーズ船を誘致しなくても十分活性化されている。近郊に巨大なワイナリー集積地を持ち、エキゾチックな生き物が見られる動物園や水族館がある。ただ、乗下船地が魅力的だからこそ、クルーズ客が集まるという面はある。
14. シドニーでのクルーズ船の発着場所は、ロケーション抜群の場所にあり、クルーズと現地観光が一体化している。また、エデンは、小さい村であるが、それゆえ、クルーズ船寄港時は、潤い、地域活性化につながっている。エデンのような村は日本にも多くありそうであり、まだまだ日本の地域活性化のポテンシャルはあると感じる。
15. シドニーのような空港からも比較的近い街で、その街中からクルーズ船に乗船できる場合、乗客の立場からするとシドニー発着のクルーズは、国内外から人気だろうと思われる。オーストラリアやオセアニアの各地域がどれだけの客船誘致活動を行っているのかは分からないが、旅行者の旅行日数の希望とシドニーからの何泊何日で移動できる距離にあるかが、他の港湾にクルーズ客船が寄港するかどうかのポイントになると考える。

クルーズを通じた国際交流・異文化理解についての感想

1. 言語や文化背景が異なる多様な人々と交流する機会が多く、英語でのコミュニケーションも日常である。ダンスパーティーや食事の場でも自然と英語を使うことになる。旅行中という一層オープンマインドになる環境だからこそ、他国の陽気な性格や優しさに触れることができ、貴重な経験も比較的容易に緊張感少なく得られる。
2. クルーズ船では、普段は出会うことがほとんどない海外の人とたくさん話す機会ができる。スタッフの方や他のお客の人など、英語を使ってコミュニケ

ーションをとることができるが、私は英語を話すことやリスニングが、苦手なので、克服すれば、もっと会話を楽しめると感じた。

3. クルーズ船内で台湾出身のバトミントンのオリンピック選手の方と出会った。一緒に写真を取ることができとても貴重な経験だった。また夜のダンスパーティーは周りの目を気にせずダンスができた。クルーズの乗客の方々、船員の方々はとても陽気で海外にいるから私も気にせず楽しもうと思えた。
4. 今回のクルーズは乗船期間が短かったこともあり、あまり国際交流をすることはできなかった。しかし夜の船内でのダンスでは年齢を問わず、乗客の方が楽しそうに踊っていた。さらに道を譲ったり、物を拾ったりと些細なことでも感謝の言葉をくれた。また食事中も話しかけてくれたり、拙い英語でも理解しようと聞いてくださった。
5. 今回はバトミントンの元オリンピック選手の方と偶然お話しして写真を撮ることができた。日本発着も海外発着も、船員さんやお客さんに様々な国の方がいた。ビュッフェやディナーでは、ビーガン向けの料理やグルテンフリーや砂糖不使用のスイーツがあったりして、様々な需要に対応できるようになっているのだと感じた。
6. 日本人がほとんど参加していなかった分、現地で参加していた日本人の方と交流することができた。また、海外の方々とも交流することができ、非常によい異文化交流ができたと思う。観光をしているだけでは、それほど現地の人と話す機会がないが、ビュッフェで隣に座った外国人の方と話をすることができたりして、貴重な経験ができた。
7. 様々な国の方が乗っていて、乗客の割合によって流す曲や歌う歌を変えていたので、異文化に触れることが出来、知らなかった曲にも出会えてとても良かったです。また、エレベーターでは譲ってくれたり、車椅子の方への配慮など様々な人の優しさに触れることが出来て、国は違っても優しい心をみんな持っていることを感じて嬉しかったです。
8. ダンスパーティーやエレベーター、ジャグジーなどで交流があった。全然知らない人とダンスをすることは日本ではあまりないので刺激的な経験であった。エレベーターやジャグジーなど、狭い空間の中で一緒になると必ずと言っていい程高頻度で話しかけてきてくれる。30秒ほどで終わるような短い会話ではあるが、すごく文化の違いを感じた。もうすぐ卒業だということもあり最近飲みに行く機会が多く、帰りによくタクシーに乗るのだが、深夜のタクシーは必ずと言っていいほど運転手が話しかけてくる。気になって聞いてみると、防犯の意味が強いことが分かった。海外で狭い空間になると必

ず話しかけてくるのと意図が全然違って異文化の面白さを感じた。

9. 今回はシドニー発着であったため船に乗る前から外国でありコミュニケーションに不安を感じていたが、対応に当たってくれる方全員が丁寧に対応してくださった。また私たちが日本人であると理解するととても興味をもって話を振ってくださるの印象的だった。改めて日本人は世界の人に好かれていたことが分かった。そういった対応をしてくれるので私も前回よりも積極的に話しかけられた。その中で様々な人の文化に触れながら、多くの知見を増やすことができとても良い時間だった。
10. クルーズ船に乗り感じる機会の最も多かったことは、海外の人の陽気さだ。どんな場面でもふと話しかけてくる性格は、日本にはなかなかいないものの、体験してみると楽しさを増してくれるものだった。クルーズを終えてからも少し寂しくなるほど話しかけてもらい、海外の良い文化だと感じた。
11. クルーズ中のイベントには多種多様なものがあり、中には参加型のものも数多くあった。私が参加したワークショップにニセドル札を使ったアート製作があったが、明るい中華系のおばさたちと一緒に過ごす中で言葉を越えた理解が生まれたように思う。クルーズは自分の固定概念を見直すきっかけもくれた。
12. ダンスパーティは特に連帯感があって、音楽を通して一緒に盛り上がり、意気揚々とした気分浸れたり、体験型アクティビティやジャグジーバスと一緒に入った方々と会話したりと、様々な国の方々のコメントや行動を垣間見る良い機会だった。
13. この円安時代に、海外に出かけるというだけで他の人とは異なる貴重な経験ができる。シドニーはコスモポリタン都市で、労働者の人生を楽しむ権利が大切にされていることが良く分かった。乗客はオーストラリア人が9割ということであったが、いわゆる白人だけではなく中華系や南アジア系の移住者オーストラリア人も多かったように思う。
14. 今回はシドニー発着ということもあり、日本人はほとんどいなかった。外国人に囲まれ、異文化も体験できる。なんといっても、夜まで遊んでも安心というのがクルーズ船の良いところだ。学生はそれぞれに良い体験をしたことだろう。日本発着はお手ごろだが、海外発着はまったく違う雰囲気であり、海外発着のクルーズ船に乗る価値はそこにある。
15. ・クルーズ客船では、乗客の国籍に合わせた国々の料理を提供する方針により、必然的に海外発着のクルーズでは、日本食をほとんど食べられない状況である。しかし、どの国の料理も、美味しそうに見え、実際に食べた料

理は美味しかったため、複数の国の食の良さを十分に楽しめる機会であった。特に、カレーの種類が多く、どのカレーもおかわりしたくなる美味しさであった。

クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)

1. 回答無し
2. クルーズの良さは、いつでも楽しめることだと考える。普段の旅行では、電車やバス、車など移動するのに時間がかかるし、移動の間も座ることぐらいしか出来ないが、クルーズ船では、船の中はいつでも楽しいし、寄港するまで自由に好きな時間を過ごせることがいいことだと思う。また、たくさんの人とコミュニケーションを楽しめるいいきっかけにもなる。クルーズ船を振興するためには、若い人ならInstagramやTikTokなどのアプリを用いたり、クルーズの期間を短くして、値段も抑えることで若者がクルーズ船に乗るハードルを下げるのが重要だと考える。
3. このクルーズ船で魅力的だった点でシーウォークを何度か挙げたが、若い世代の視点から見るとこのようなクルーズならではの経験を写真、動画で記録することができ、SNSでクルーズを知らない人にもクルーズに乗っていることを伝えられるものがあることがうれしいと感じると思った。こんなにすごい経験をしているのだということをみんなに伝えたいと思う人は多いと思う。そして、シーウォークの写真を見て私もこの写真を取りたい、この場所で写真が取りたいと思うと思う。クルーズの魅力を上手く伝えられるスポットがあることがクルーズ振興の鍵になるのではと思った。
4. 飛行機や電車などを使った長距離での移動が厳しい高齢者や身体が不自由な方、子供連れにとっては旅行がしやすくなると思う。どんな状況でも旅行を楽しめるのがクルーズの社会的意義だと考える。若い世代にとってはクルーズは馴染みがないものだと思うので、値段が高いと感じると参加しないという選択をとると思う。周りに実際にクルーズを体験した人がいれば参加へのハードルが下がるように感じる。
5. 今回のクルーズではたくさんのお客さんが乗船していて盛り上がりを感じた。また、下船をした後その次のお客さんが船に向かっているのを見てシドニーではクルーズ旅行の需要があると感じた。日本では、まだまだ、クルー

ズに対しての偏見（例えば、船内でのドレスコード、高齢者向けである）があると思うので、実際の部分を伝えよりクルーズを身近に感じてもらう必要があると思う。

6. クルーズ船は値段が高いイメージがあるが、その値段に似合った体験ができると感じた。また、クルーズは期間が長いことが多いため、時間のある学生にはぴったりだと思うが、クルーズ船の存在は学生にはあまり周知されていないように感じる。若い世代の人がクルーズ船に乗り、それを発信することが周知に繋がると感じた。
7. 船に乗るだけでこんなにも楽しめるクルーズはもっと若者やたくさんの人に広めるべきだと思いました。お金はかかるけれど、時間がある学生には十分行く価値はあると思いました。知らないから行こうと思わない人が多いと思うので、知名度を高めるべきだと思います。
8. クルーズの社会的意義として地域活性化が挙げられる。今回のエデンのように車でも電車でも無くクルーズ船だからこそ良い時間を過ごせる場所もある。船の中で遊んで向かい、エデンで観光し、観光が終われば船に戻って休憩ができる。観光地が多ければ一日中観光ができる。アクセスが良ければ観光が終わればすぐに帰ることができる。エデンのような観光地が少なく、かつアクセスが良くない場所こそクルーズ船の出番だと考える。エデンの町を発展させるためにはクルーズ船は必要不可欠であると感じ、大きな社会的意義を実感した。クルーズの社会的意義が分かったところで、次にクルーズの需要創出について考える。クルーズで地域を活性化できるとしてもそのクルーズに需要がなければ意味がない。日本海事センターによると、クルーズに参加したことが無い人は、時間が無いことやそもそもクルーズに魅力を感じていない人が多かった。確かにクルーズというところと一か月程度船で世界を回るような印象を私も持っていた。しかし、実際には一週間や5日、3日程度のクルーズも増えている。「クルーズ＝船の長旅」というイメージを払拭することが必要だと感じた。また、クルーズに魅力を感じていない層に関しては、一度体験で乗船してみるべきだと思う。私は、今回のクルーズが二回目なのだが、一回目のクルーズに乗ってたくさんの魅力を感じることができた。乗る前にイメージしていたよりも何倍も圧倒されたし、感動した。その感動は実際に乗ったことがある人にしか分からない。一度クルーズに乗ったことがあり、魅力を知っているからこそ迷わず参加することにした。初回限定で低価格で乗船し、魅力をしってもらう機会を作ることによって、多くの人がリピートすることになり、需要が拡大すると感じている。

9. クルーズのニーズの掘り起しに向けて大切なことはクルーズをもっと身近にすることと、クルーズの中で出来ることを知ってもらうことが大切だと思う。今回私が卒業旅行でクルーズに乗ることを伝えたら多くの人が「クルーズ？」と言葉は知っているものの、見たことがないためあまり理解が得られなかった。私しかこの楽しみを知らないという優越感に浸れたが、それと同時にもっと身近になれば良いのと思った。また、他の友達に伝えたときは「クルーズにのるよりも他の場所観光した方が有意義では？」と言われた。クルーズの中で出来る事がわかればこんなことは言われないうと思う。もっと身近に、そしてできることが伝わればよいと思った。私は下船後周りの友達にクルーズ布教しています。
- 10.クルーズは異文化を手軽に経験することができることから、国同士が良好な関係を結ぶことに寄与することが出来るものであり、盛んになることに大きな意義を感じる。1度経験すれば何度でも乗りたくなるクルーズの特性を活かし、1度目のクルーズへのハードルを下げるような取り組みをすることで、クルーズを広めることが出来るのではないかと考える。
- 11.非日常の世界に自分を置くことで自分を客観視でき、内省も可能となる。また特に海外の方とのふれあいを通し、価値観を見直すことができ視野が広がる。特にクルーズは一定数の方とまさに同じ船に一定期間乗ることから、一期一会ではない独特の関係性も築けるチャンスもあるように思った。日本人だからこそ有益なのに広まっていないことが残念に思われた。
- 12.クルーズはリタイアした方々の余暇を過ごす旅という印象だったけれど、若い世代の方々も十分楽しめる Club night、プールパーティ、バスケなどスポーツの場、Nintendo などゲームで競うなど、若い世代の方々を惹きつけるアクティビティが豊富だと、通常の旅行同様にクルーズ旅も身近なものに感じるのかもしれない
- 13.クルーズは高級だという思い込みが強く、エンタメ・食・移動費込みでこの価格ということを皆知らないのだと思う。探せば3泊4日のショート日程もあるので、横浜や神戸発着のショートクルーズが増えるとよい。
- 14.クルーズでは、通常の旅行では味わえない経験ができるが、限られた空間で何ができるのかという想像ができない。その分、挑戦してみようと思う人は少ない。日本の物価も上がってきており、食事などがすべて含まれる商品は魅力敵になりつつある。円安で海外旅行の価値は下がっているが、お手頃価格で海外旅行ができるのがクルーズである。実際の価値、船内の楽しみを知ってもらうには、信頼できる知り合いや媒体からの伝達が効果的で

ある。ジャパネットクルーズが、クルーズ客の新規開拓に成功しているのも、ジャパネットでこれまでに培ってきた信頼感が背景にあるからである。

- 15.・40歳代でも「若い」と言われる日本のクルーズの状態が世界的には異常だということを、今回も実感した。国籍は分からないが、カジュアルな格好の20歳代の若者が集団で乗船していた。30歳代になってからクルーズ客船の旅を始めた立場からは、日本でも20歳代の旅行先の選択肢の一つにクルーズ客船の旅が入ってほしいと思う。大学生に話を聞くと、有名なインフルエンサーが行った場所で行った行為を「自分たちもしてみたい」と思うらしい。したがって、定点クルーズに有名なインフルエンサーに乗船してもらい、その様子を配信してもらうこと、そして同じ体験ができることを売りにするツアー商品を作り販売するくらいのことはしても良いと思う。近年は、ジャパネットのクルーズのように、追加料金をかけずに乗船することの安心感を売りにしているツアーもあるため、インフルエンサーと同じ体験についても、全てセットにしたパックにすることも考えてはいかがだろうか。

クルーズ全般への感想

1. クルーズ船での体験はいつも非日常的で楽しい。今回は自分のゼミ生だけが参加学生であり、かつ卒業を間近に控えた時期でもあるので、一生の思い出になった。クルーズそのものも天候に恵まれたこともあり快適で、船内の時間もゆったりと楽しめた。また、個人的には、非英語ネイティブとの会話がなくて気楽に実践的英語能力を上げられる場でもある。「気軽に」「実践的な」英語力が向上することもクルーズの魅力に加えて、次回以降のアカデミープログラムを計画したい。
2. このクルーズ船に乗って感じたことは、メダリオン一つ持ち歩くだけで船の中を行き来できたので非常に楽でよかった。また、シャンパンタワーにシャンパンを注ぐことができ、とても印象深い思い出ができた。また、卒業旅行としてゼミのみんなで行ったので、一生忘れられない素敵な時間になった。また、機会があればぜひ利用したい。
3. 今回のクルーズは3回のクルーズ乗船経験の中で一番楽しかった。様々なコンテンツを堪能することができたし、何よりもシドニーがとても良かった。出会った皆さんいい人ばかりで気持ちよく旅行ができた。また絶対に来ようと思った。次来るときももしクルーズがあればぜひ参加したいしシドニー以外の港にもぜひ行ってみたいと思う。

4. 今回のクルーズも合わせて2回クルーズに参加させてもらえた。それぞれの船の違いを体験することができた。非日常的な体験ができて参加できて良かったなと思っている。前は内側の部屋だったため、窓側の部屋になって快適に感じた。機会があれば次回も窓側の部屋で参加したい。
5. 期間は短かったけれど学生生活最後の良い思い出ができた。前泊でシドニー観光をしていた時と比較すると身軽で貴重品のスリの心配がなかったり、船内の外国人の船員さんやお客さんに話しかけられても怖い人ではないと分かっているので緊張せずに過ごせたり、セキュリティ面で安心できる環境だなと思った。今後、長期休みをとって旅行をする、それも他社の友達と時期を合わせる、ということは難しいと思うのでクルーズに乗ることはしばらく難しいかなと思う。期間の短いクルーズでタイミングが合えばまた乗りたいと思う。
6. 海外発着のクルーズという点で、料理やオーストラリアまでの移動距離・時間・料金など、様々な点で不安が多かったが、実際にクルーズ船に乗り、参加して良かったと心から思った。日本発着のクルーズ船とはお客の雰囲気異なり、陽気で明るい方が多かったと感じる。海外のクルーズ船に乗る機会は、老後まで無いと思うので、今回学生最後の卒業旅行として参加することができ、非常に楽しく、良い思い出になった。
7. 今回のクルーズはシドニー発着だということもあり、前回とはまた違った雰囲気を楽しめてとても良かったです。人生でお金を貯めて後1回は乗りたいと思いました。また、社会人から貯金を始めてお金を貯めて両親へクルーズ旅行をプレゼントしたいと思いました。
8. 今まで二回クルーズ船に乗ってクルーズ船の可能性をたくさん感じる事ができた。もっと発展すればもっとたくさんの町が活性化していくに違いないと感じている。しかし、クルーズ船の需要は北米が圧倒的に多く、次いでドイツ、イギリスとなっている。日本のクルーズ船の需要は世界に比べると非常に少なく、もっと発展させたいと感じた。今後は日系のクルーズ船にもぜひ乗ってみたい。そしてその規模や客層、サービスなどを経験したい。海外船との違いなどに注目して乗りたいと思う。その時にもぜひアカデミーとして働くクルーにインタビューしてみたいと思う。
9. クルーズでの失敗談としてレストランで注文できる数が限られていると思っており、一品ずつしか頼んでいなかったことだ。これから乗るときはもっと頼みたい。将来に向けての感想としてはもっと英語力を身に付ける事、そしていつかクルーズに関わる仕事をするということだ。英語力に関しては前回に

比べたら自分の言いたいことを言えたが、ジョークを言えるほどの余裕がなかった。もっとフランクに話せるようになりたい。クルーズに関わる仕事ではどんな形でもよいから自分が楽しいと思った場所をもっと多くの人に触れてほしい、そのために自分も活躍したいという思いからこれを実現しようと思った。いつか実現して私もクルーズに恩返ししたい。

10. 友人とクルーズ船に乗るという貴重な経験をし、降りた直後にまた乗船しようと約束するほど満喫することが出来た。1度乗ってしまうと、船の上でしか経験できないこと、感じられないことが数多くあり、他の全ての知り合いにも勧めたくなってしまう。クルーズはお金という大きなハードルを乗り越えてでも乗船したくなってしまうほど素晴らしいもので、これからまた何度でも乗りたい。
11. わずか3泊4日のクルーズでしたが、終始感動・感激の連続でした。写真を見返すうちに自然と込み上げてくるものがありますが、表現しようにも適切な言葉が見つかりません。ただただ楽しく、嬉しく、幸せな時間でした。乗船前は何も知らないことへの不安もありましたが、それはすべて払拭されました。まだ元気なうちにクルーズを体験できて本当に良かった。ですがこれは始まりに過ぎません。第2回、第3回と続くであろう、新たな世界と自分自身への期待が膨らみます。こんな素敵な経験をさせてくれた、クルーズで一緒に過ごした皆さんにも深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。一生涯の思い出、宝物になりました。そして声を大にして言いたい。クルーズ、ブラボー!!
12. クルーズといえば、王道のクルーズの旅など、サンプル、モデリングな旅の形態を紹介するビデオや、説明会に出て、長期間のクルーズを体験したいと思った。
13. オーストラリアはヨーロッパのような歴史的資産がないから退屈と思っていたが、間違いだと分かった。ただ、毎回思うのがクルーズに詳しい方と乗るからクルーズがさらに楽しいという好循環だからよいものの、未体験でクルーズ乗船しても面白さを半分も体験できずに下船してしまうのではないかというところ。クルーズこそ最初は大人数でかつ上級者と(可能なら添乗員などではなく、クルーズの経験者と)乗船してほしいと願う。
14. 今回は、シドニーという海外発着のクルーズを体験した。3泊しかなく短いかと思ったが、その分、いろいろな体験をしようと意気込み、十分に味わえた。また、日本人がいないクルーズ、日本料理がないクルーズは、日本発着では味わえない新たな体験を生み出してくれる。また、日本から長距離移

動と航空券代を支払って体験するクルーズだが、発着地のシドニーは、街も港も素晴らしく、クルーズに加えて来る価値を感じさせられた。

15. 今回はカジノで全く遊ばなかったが、今になって思うと、少しは遊んでおけばよかった。また、プールデッキでお酒を飲むことも、すっかり忘れていた。それだけ他のイベントや食事に満足できる内容だったわけだが、3泊4日では全然足りないと思えるくらい楽しめた。残念な点としては、乗船した船のオリジナルグッズが少ないように思えた。T シャツはやたらと種類があり、古いデザインのものやセールもしていたが、ステッカーの種類が少なく、もっと種類があれば良いのと思った。